



ス、支那事變ニ關スル臨時軍事費ニ付キマシテハ、第七十一議會及ビ第七十二議會ノ御協贊ヲ得マシテ、是ガ經費ヲ支辨シ來テ居ルノデアリマス、併シ今回更ニ之ヲ増額スルノ必要ヲ生ジマシタノデ、不日臨時軍事費追加豫算案ヲ本議會ニ提出致ス積リデアリマス、此臨時軍事費ニ要スル財源ハ、其大部分ヲ公債ニ俟ツコトニ致シタイト存ジマス、ケレドモ其一部ハ銃後ノ國民ガ、其分ニ應ジ租稅ヲ以テ負擔スルノヲ適當ト認メマシテ、茲ニ增稅案ヲ作成スルコト致シタ次第デアリマス、租稅ノ增徵ニ當リマシテハ、國民ノ負擔力ニ能ク意ヲ注イデ、又事變ノ影響等ニ因ツテ利益ノ著シク増加致シタ者ニ對シマシテハ、新ニ標準ヲ設ケテ、其增加利益ニ課稅致シマスルト共ニ、比較的擔稅力アル方面ノ消費スル物品又ハ行爲ニ課稅スル爲ニ、物品特別稅ノ範圍ヲ擴張致シマシテ、更ニ通行稅、入場稅ヲ設クルコトニ致シタノデアリマス、尙ホ昨年御協贊ヲ得マシテ、目下施行サレテ居リマスル北支事件特別稅ハ、今回ノ增稅案ノ施行ト共ニ、廢止セラル、豫定デアリマス是ヨリ法案ノ內容ニ付テ、順次御説明申上ゲマス、先づ所得稅デアリマスルガ、所

得稅ノ中第一種所得、即チ法人ノ所得ニ對シマシテハ、普通所得稅、清算所得稅及び同族會社ノ加算稅ヲ、ソレバ、二割五分程度増スコトニ致シマシタガ、北支事件特別稅ニ於キマシテハ、第三種所得稅ニ付テ、四割於テ、第一種所得稅ニ付テハ、稅額ノ稅ニ於テ、第一割程度ノ增徵ヲ行ツテ居リマスルカラ、今回ノ增徵ニ依ル回二割五分上ダクト申シマシテモ、其一割ノ關係ヲ考ヘテ見マスルト、今回ノ增徵ニ依ル負擔增加ハ、一割五分程度トナルノ關係ヲ考ヘテ見マスルト、今回ノ增徵ニザイマス、尚ホ法人ノ超過所得ニ對スル増分ヲ合セテ二割五分トナルト云フ意味デゴザイマス、尚ホ法人ノ超過所得ニ對スル増分ノ割合セテ二割五分トナルト云フ意味デゴ、北支事件特別稅ト全ク同様ニ、之ヲ一割ノ程度ニ止ムルコトト致シマシタ、第二種ノ所得稅ニ付キマシテモ、原則トシテ、其稅率ヲ二割五分程度引上ダルコトニ致シマシタ、ケレドモ北支事件特別稅ニ依ル增徵五分ヲ引キマスト、二割ノ增徵トナル譯デアリマス、併シ國債ノ消化スルコト、茲ニ產業資金ノ疏通ト云フ點ナドヲ行爲ニ課稅スル爲ニ、物品特別稅ノ範圍ヲ擴張致シマシテ、更ニ通行稅、入場稅ヲ設クルコトニ致シタノデアリマス、尙ホ昨年御協贊ヲ得マシテ、目下施行サレテ居リマスル北支事件特別稅ハ、今回ノ增稅案ノ施行ト共ニ、廢止セラル、豫定デアリマス是ヨリ法案ノ內容ニ付テ、順次御説明申上ゲマス、先づ所得稅デアリマスルガ、所

得稅ノ中第一種所得、即チ法人ノ所得ニ對シマシテモ、其稅額ノ二割五分ヲ增徵スルコトト致シマシタガ、北支事件特別稅ニ付テ、四割於テ、第一種所得稅ニ付スルコトニ致シマシタ、更ニ北支事變ノ影響ナドニ因リマシテ、利益ノ増大致シテ居ル者ニ對シマシテハ、此際臨時利得稅ヲ增徵スルノヲ適當ト認メマシテ、昭和九年、十年、十一年ノ期ノ納期ノ中三期分ニ付テ、一割ノ增徵ヲ行ツタノデアリマスルカラ、今回ノ增徵ニ依ル負擔ノ實際ノ增加ハ、一割五分程度トナルノ關係ヲ考ヘテ見マスルト、今回ノ增徵ニザイマス、尚ホ法人ノ超過所得ニ對スル増分ヲ合セテ二割五分トナルト云フ意味デゴザイマス、尚ホ法人ノ超過所得ニ對スル増分ノ割合セテ二割五分トナルト云フ意味デゴ、北支事件特別稅ト全ク同様ニ、之ヲ一割ノ程度ニ止ムルコトト致シマシタ、第二種ノ所得稅ニ付キマシテモ、原則トシテ、其稅率ヲ二割五分程度引上ダルコトニ致シマシタ、ケレドモ北支事件特別稅ニ依ル增徵五分ヲ引キマスト、二割ノ増徵トナル譯デアリマス、併シ國債ノ消化スルコト、茲ニ產業資金ノ疏通ト云フ點ナドヲ行爲ニ課稅スル爲ニ、物品特別稅ノ範圍ヲ擴張致シマシテ、更ニ通行稅、入場稅ヲ設クルコトニ致シタノデアリマス、尙ホ昨年御協贊ヲ得マシテ、目下施行サレテ居リマスル北支事件特別稅ハ、今回ノ增稅案ノ施行ト共ニ、廢止セラル、豫定デアリマス是ヨリ法案ノ內容ニ付テ、順次御説明申上ゲマス、先づ所得稅デアリマスルガ、所

得稅ノ中第一種所得、即チ法人ノ所得ニ對シマシテモ、其稅額ノ二割五分ヲ增徵スルコトト致シマシタガ、北支事件特別稅ニ付テ、四割於テ、第一種所得稅ニ付スルコトニ致シマシタ、更ニ北支事變ノ影響ナドニ因リマシテ、利益ノ増大致シテ居ル者ニ對シマシテハ、此際臨時利得稅ヲ増徵スルノヲ適當ト認メマシテ、昭和九年、十年、十一年ノ期ノ納期ノ中三期分ニ付テ、一割ノ增徵ヲ行ツタノデアリマスルカラ、今回ノ增徵ニ依ル負擔ノ實際ノ增加ハ、一割五分程度トナルノ關係ヲ考ヘテ見マスルト、今回ノ增徵ニザイマス、尚ホ法人ノ超過所得ニ對スル増分ヲ合セテ二割五分トナルト云フ意味デゴザイマス、尚ホ法人ノ超過所得ニ對スル増分ノ割合セテ二割五分トナルト云フ意味デゴ、北支事件特別稅ト全ク同様ニ、之ヲ一割ノ程度ニ止ムルコトト致シマシタ、第二種ノ所得稅ニ付キマシテモ、原則トシテ、其稅率ヲ二割五分程度引上ダルコトニ致シマシタ、ケレドモ北支事件特別稅ニ依ル增徵五分ヲ引キマスト、二割ノ増徵トナル譯デアリマス、併シ國債ノ消化スルコト、茲ニ產業資金ノ疏通ト云フ點ナドヲ行爲ニ課稅スル爲ニ、物品特別稅ノ範圍ヲ擴張致シマシテ、更ニ通行稅、入場稅ヲ設クルコトニ致シタノデアリマス、尙ホ昨年御協贊ヲ得マシテ、目下施行サレテ居リマスル北支事件特別稅ハ、今回ノ增稅案ノ施行ト共ニ、廢止セラル、豫定デアリマス是ヨリ法案ノ內容ニ付テ、順次御説明申上ゲマス、先づ所得稅デアリマスルガ、所

スルコトニ致シマシタ、其他個人利益ガ  
万圓未満ノ者ニベ、乙種利得ニ對スル利得  
稅ヲ課セザルコトト致シタノデアリマス、  
利益配當稅、及び公債及ビ社債利子稅ハ、  
配當ニ付キマシテハ配當率ノ七分ヲ超ユル  
金額、國債ニ付キマシテハ利率年四分、  
其他ノ公債及ビ社債ニ付キマシテハ利率年  
四分五厘ヲ超ユル金額ニ對シ、百分ノ十ノ  
稅率ヲ以テ課稅スルコトニ致シテ居リマス  
ガ、是ハ北支事件特別稅ノ内ノ利益配當特  
別稅及ビ公債及ビ社債利子特別稅ト全ク同  
様デアリマス、法人資本稅ニ付キマシテハ、  
新ニ二割ヲ增徵スルコトニ致シマシテ、其  
稅率ハ千分ノ一デアリマスルノヲ、千分ノ  
一・二ニ引上ゲタノデアリマス

次ニ砂糖消費稅ニ付キマシテハ、各種ノ砂  
糖ノ生産消費ノ實情ヲ考ヘマシテ、其稅額  
ニ付テ約一割ノ增徵ヲスルコトト致シマシ  
タ、其稅率ヲ百斤ニ付七十錢程度引上ゲルコ  
トト致シマシタガ、第一種ノ甲ニ付キマシ  
テハ、百斤ニ付三十錢ニ止メ、第四種ニ付キ  
マシテハ、百斤ニ付一圓ヲ引上ゲルコトト致  
シマシタ外、糖蜜ニ付キマシテモ、砂糖トノ  
負擔ノ振合ヒヲ考ヘマシテ、其稅率ヲソレ  
ゾレ改正致サウトスルノデアリマス、又政  
府ニ於テ相當ト認メル擔保ヲ出シマシタ  
トキハ、六箇月以内消費稅ノ徵收ヲ猶豫スル  
コトニナシテ居リマスルノヲ、此際三箇月ニ  
縮メルコトト致シタノデアリマス、取引所  
稅ニ付キマシテハ、株式ノ賣買取引ニ對ス  
ル取引稅ノ稅率ヲ、相當引上ゲル餘地ガア  
ルモノト認メマシテ、長期ノモノニ付テハ  
短期ノモノニ付キマシテハ約四割八分ヲ引  
上ゲマシテ、万分ノ四ニ致シタノデアリマ  
ス、通行稅ニ付キマシテハ、汽車、汽船ナ  
ドノ乗客ニ對シ、課稅スルコトニ致シタノ  
デアリマスケレド、五十杆未満ノ三等乘客  
ニ對シテハ、其負擔力ノ點ヲ考ヘマシテ、  
課稅シナコトニ致シタノデアリマス、其  
稅率ハ三等乗客ニ付テハ五十杆以上ノモノ  
等乗客ニ付テハ、五十杆未満三錢カラ八百  
秆以上一圓二十錢マデトシ、一等乗客ニ付  
テハ五十秆未満六錢カラ八百秆以上二圓四  
十錢マデト致シマシテ、ソレド<sup>ム</sup>距離ト等  
級ニ應ジマシタ階級定額稅率ヲ設ケルコト  
致シタノデアリマス、次ニ入場稅ニ付キ  
マシタ外、劇場、活動寫眞館、演藝場、舞  
踏場、「ゴルフ」場、野球場、競馬場ナドノ  
入場者ニ對シ、大體其入場料金ノ百分ノ十  
ノ稅率ヲ以テ、課稅スルコトニ致シマシ

タ、但シ劇場、活動寫眞館、演藝場等ニ付  
キマシテハ、其入場料ガ一人一回ニ付キマ  
シテ十九錢ニ滿タナイ場合ニハ、入場稅ヲ  
縮メルコトト致シタノデアリマス、又學  
校サナイコトニ致シタノデアリマス、又學  
生徒或ハ競技ヲ爲スヲ業トセザル者ノ行  
フ運動競技ヲ觀覽致シマスル爲メ、競技場  
ニ入ル者ニ對シマシテハ、其運動競技ノ性  
質上、之ヲ入場稅ノ規定ト別個ニ定メマシ  
テ、特別入場稅ヲ課スルコトニ致シタノデ  
アリマス

物品稅ニ付キマシテハ、北支事件特別稅  
法ニ依ッテ、物品特別稅ヲ設ケタノデゴザイ  
マスガ、今回之ヲ物品稅ト改メマシテ、其  
課稅品目ノ範圍ヲ是マデノ物品特別稅ト比  
べテ、更ニ擴張致シマシテ、比較的擔稅力  
アル方面ノ消費スル所ノ物品ニ、課稅スル  
コトニ致シタノデアリマス、其稅率ハ北支  
事件特別稅法ニ於キマシテハ、百分ノ二十  
ト云フ一本デアリマシタガ、今回ハ物品ノ  
種類ニ從ヒマシテ、其稅率ヲ百分ノ十五又  
ハ百分ノ十ト致シタノデアリマス、其外酒  
類及ビ燐寸ニ對シマシテモ、製造場カラ移  
出シマスルトキ、又ハ保稅區域カラ引取り  
マスルトキニ、物品稅ヲ課スルコトト致シ  
ゲマス、自作農者又ハ中小商工業者ノ中ニ  
ハ、今回ノ支那事變ノ影響ナドニ依リマシ  
テ、其收益ノ相當減少シテ居ル者モアルト認  
メラレマス、ソコデ是等ノ人々ノ負擔スル

地租又ハ營業収益税ヲ、現行法ノ儘課税ス  
ルコトハ適當デナイト存ジマシテ、茲ニ臨  
時的措置ト致シ、田畠又ハ營業ノ収益ガ昭  
和九年、十年、十一年ノ三箇年間ノ平均額  
ニ比べマシテ、二割五分以上減少致シマシ  
タトキヘ、其減少ノ程度ニ從ヒマシテ、特  
ニ地租及ビ營業収益税ノ稅額ヲ、二割乃至  
五割程度輕減スルコトトシ、収益ノ減少致  
シマシタ是等ノ人達ニ對シテ、其負擔ヲ輕  
減致シタイト存ジテ居ル次第アリマス、  
尙ホ本法案ノ實施ニ伴ヒマシテ、地租附加  
稅、營業収益稅附加稅及ビ地方稅ニ付テ  
モ、相當輕減セラル、コトトナルノデアリ  
マス、又我國ニ於キマシテ此際必要トスル  
鑛物ノ產出ノ助長ヲ圖ル考ヲ以チマシテ、  
金鑛、銅鑛、亞鉛鑛、錫鑛ナドノ鑛物ニ付キ、  
新ニ採掘權ヲ設定致シマシタ場合ニハ鑛產  
稅又ハ特別鑛產稅ヲ課サナイコト致シ、  
又是等ノ鑛物ノ產出數量ガ昭和十二年中  
ノ產出數量ヲ超過致シタ場合ニ於キマシテ  
ハ、其超過部分ニ付キマシテ鑛產稅又ハ特  
別鑛產稅ヲ、免除スルコトト致シタノデア  
リマス、又砂金以外ノ砂鑛ニ付キマシテ、  
砂鑛區域千坪毎ニ三十錢程度ノ特別砂鑛區  
稅ヲ課スルコトト致シマシタガ、是ハ是等

トスル趣旨デアリマス、其他棉花ノ節約ニ  
資スル爲「ステープル・ファイバー」麻等ヲ  
混紡致シマシタ綿絲ニ依ル織物ノ一部ガ、  
現在課稅セラレテ居リマスノヲ課稅外ニ置  
クト共ニ、綿絲又ハ「ステープル・ファイ  
バー」麻等ヲ混紡シタル綿絲ト、人造絹絲ト  
ヲ以テ組成シタル織物ノ一部ニ對シ、織物  
消費稅ヲ免除シ得ルノ途ヲ拓クコト致シ  
タノデアリマス、以上ニ申述ベマシタ臨時  
的措置ニ依リマシテ、平年度ニ於キマシテ  
ハ、地租、營業收益稅、鑛產稅、織物消費  
稅等ノ減收額ハ合計四百万圓、地方稅ニ於  
キマシテハ地租附加稅、營業收益稅附加稅  
等ノ減收額ガ、合計六百餘萬圓アリマスノ  
デ、國及ビ地方ヲ通ジマスレバ、約千万圓  
ノ減收トナル見込デアリマス

○高橋委員長 本委員會ニ付託ニナツ居得稅法中改正法律案、所正法律案、酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案、登錄稅法中改正法律案、酒造稅法中改正法律案、麥酒稅法中改正法律案、大正九年法律第十二號中改正法律案、即チ所得稅法那事變特別稅法案、臨時利得稅法中改正法律案、臨時租稅措置法案、日滿國稅徵收事務共助法案、右ヲ一括シテ議題ニ供シテ質疑ヲ重ねタイト思ヒマス、質疑ノ順序ハ大要ニ付テ先づ質疑ヲ試ミ、漸次各條ニ亘テ詳細ナル質問ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ大體ノ方針デアリマス、ドウカ諸君ニ於カレマシテモ其方針ヲ體セラレテ、御質疑ヲ進メラレンコトヲ望ミマス、但シ委員會ノコトデアリマスカラ、臨時必要ニ應ジテ其順序ヲ變更スルコトハ、何等差支ナイト思ヒマス、大體其御含ミデ御質疑ヲ續ケラレルヤウニ御願致シマス、此場合ニ明日カラノ日程ヲ申上ダマス、明日ハ午前十時ヨリ始メテ、午後ハ重要ナル案件ガ本會議ニ上程サレマスルカラ、午後ハ休ミタイト思ヒマス、明後日モ左様ニ大體御含置キヲ願ヒタイト思ヒマス、其以後ハ成ベク議會ノ事情ガ許ス

ヒマス、本日ハ午前中ハ大藏大臣ハ此席ヲ  
保ツテ戴ケマスガ、午後ニ參議ヲ進メタイト思  
アルカノ如ク承ツテ居リマス、追テ午前中  
ノ審議ヲ終リマス頃ニ、諸君ニ御諮リテ致  
シテ、午後ノ日程ハ決メマス、資料ノ要求  
ハ大藏大臣ノ左様ノ都合モアリマスカラ、  
午後カ或ハ午前ノ休憩前ニ御申述ヲ願ヒタ  
イト考ヘマス、尙ホ豫メ書面デ委員長ノ手  
許マデ御提出ヲ御願シテモ宜カラウト思  
テ居リマス——是ヨリ質疑ヲ通告ノ順序デ  
御願致シマス——前田房之助君

○前田委員 本回ノ増税ハ申ス迄モナク、  
臨時軍事費ノ財源ノ一部ニ充當サレルノデ  
アリマスカラ、私ハ審議ヲ進メマスル必要  
上、先づ將ニ追加提出サレマスル臨時軍事  
費ノ内容ニ付テ、此際御説明ヲ願ヒタイト  
思フノデアリマス、先般本會議ニ於テ總額  
ハ四十八億五千万圓ト云フコトヲ承ツタノ  
デアリマスルガ、其内容ヲ陸軍省幾ラ、海  
軍省幾ラ、大藏省所管幾ラト云フ風ニ、内  
容ノ御説明ヲ願ヒタイト存ジマス

○賀屋國務大臣 今書類ヲ直グ取寄セマシ  
テ申上ゲマス

○高橋委員長 前田君ニ御諸リ致シマス、  
テ申上ゲマス

○賀屋國務大臣　今ノ前田委員ノ御尋ニ對シマシテ、遲クナリマシテ甚ダ申譯アリマ  
カ、御待チニナリマスカ  
○前田委員　ソレカラ聞キマセヌト、一寸議論ヲ進メニクイデスカラ……  
○高橋委員長　ソレデハ此場合ニ資料ノ御要求ヲ承リマセウ  
○東條委員　資料ノ要求ヲ致シマスガ、臨時措置法ニ依リマスル減收ノ見込ヲ承リタ  
イ、ソレカラ本稅ノ増減ニ依リマスル附加稅ノ増減ガ、ドウ云フ風ニナリマスカ、地  
方ノ自治體ノ附加稅ノ見込ヲ承リタイ、ソ  
レカラ物品特別稅ノ收入ノ見込デアリマス、  
是ハ各品種別ニ詳細ナモノヲ頂戴致シタイ  
○岡本委員　資料ヲ要求致シマスガ、法律案ニ依ヅテ命令ニ委任シテアル各事項ノ内  
容ヲ、成ベク早ク御提出願ヒタイ、尤モ極  
ク詳細ナコトハ宜シウゴザイマスカラ、大  
體ノ數字ダケラ早ク知リタイト思ヒマス、  
尙ホ序ニ、朝鮮、臺灣、樺太ニ於ケル國稅額、地方稅額、其合計額、並ニ各人口千人  
當リ一覽表、及ビ滿洲國ニ付テモ同様ナル  
モノヲ御提出願ヒマス

セヌデシタ、大體申上ゲマス、陸軍ノ分ガ豫備費ガ五億五千万圓、海軍ガ十億五千万圓、三十二億五千万圓、合計四十八億五千萬圓デアリマス、併シ今尙ホ其細部ニ付キマシテ詮議中デアリマスノデ、合計ニ於テ或ヘ數百万圓、多クナレバ一千万圓、又陸軍、海軍ニ於キマシテモ、今申上ゲマシタ金額ヨリ數百万圓程度ノ動キハアルカモ知レマセヌ、大體ノ見當ヲ申上ゲレバ、右申上ゲマシタヤウナ通リデアリマス

ノノ初マリガ、十三年ノ四月一日カラデアリカト云フ御尋ニ對シマシテハ、明瞭ニ左様デアルトハ御答申上ゲ兼ネマス、ソレ以前三ニ要スル經費モアルカモ知ラヌト云フコトヲ御含ミヲ願ヒマス、又終期ニ付キマシテ、テモ、此前ノ軍事費ノ終期ニ付キマシテ、ハッキリ御答申上ゲ兼ネタノデアリマスルガ、來年ノ三月三十一日マデトハ、明瞭ニ左ハ御答申上ゲ兼ネルノデアリマス、大體ニ於テ只今ノ豫測シテ居リマスル事情ニ大ナル變化ガ無イ限りハ、次ノ通常議會マデ特ニ御協贊ヲ願フコトガナクテモ、是ガ濟メアラウ、又モウ一步申上ゲマスレバ、甘ニ御協贊ヲ願フコトガナクテモ、非常ニ取急イ通常議會開會勿々直チニ御協贊ヲ終ルト云フコトヘナイカト思ヒマス、併ナガラ是ヘ事變ノ變化如何ニ係リマス、ハッキリトヘ由上ゲ兼ネル次第アリマス

ノ賀屋國務大臣 是モ甚ダ大體デ恐入リマスガ、此増稅ニ依リマスルモノノ、大體昭和十三年度中ニ入ツテ參リマスモノヘ、其財源ニ充テル積リデアリマス、尙ホ細カク申上ゲマスレバ、煙草ノ値上ニ付キマシテハ、昭和十二年度中ノモノモ若干益金ノ増加ガアル譯デアリマス、少額デアリマスガ是モ入レル積リデアリマス、大體ソレデ三億圓之ニ入レマスコトハ、其外地特別會計ヨリノ歲出案ハ、既ニ御審議ヲ經マシタ次第デ、其外内地ニ於テ今回致ス增稅ニ伴ヒマシテ、外地ニ於テモ增稅ノ計畫ガアリマス、其收益ヲ全部繰入レル譯ニヘ外地ノ方ハ參リマセヌ、若干徵稅費其他時局ニ關係ヲ致シマス施設ニ要スル經費モアリマスノデ、其大部分ヲ入レルコトニナリマヌ、ソレガ一千萬圓ヲ越スト思ヒマス、マダ詳細ナ數字ヲ申上ゲル程度ニ參リマセヌガ、モウ少シ確定致シマシタラ、尙ホ詳細申上ゲマス、外ノモ多分財源ニ充當サレルノデアラウト思ヒマスガ、其大體ヲ承ルコトガ出來レバ結構ダト思ヒマス。

地ヨリノ繰入ガ合計一億圓強、内地ノ増徵ガ三億圓餘、合計普通財源四億圓餘アリマス、尙ホ細カク申上ゲマスレバ、軍事費獻納金等モ百万圓位ハアリマス、是ハ大局論カラスレバ少イト思ヒマスガ、先ヅ此增稅ニ依ル三億圓、外地ヨリノ約一億圓ト云フモノガ普通財源ニ大體ナル、残リノ四十億ハ公債ニナル、大體ノ見當ハ斯様デアリマス。

○前田委員 ソコデ先づ外地ノ租稅ノ增徵額ガ、大體一千万圓以上ト云フ御話ガアッタノデアリマスルガ、私ハ内地ノ增稅額ト比較ヲシテ見テ、餘リニ過少デハナイカト云フ感ジガ致スノデアリマス、無論外地ハ平素デアリマスルナラバ、植民政策ノ意味合カラ、又經濟事情カラ致シマシテ、内地ヨリモ相當課稅率ノ低イト云フコトハ、是ハ當然ダト思ヒマス、併ナガラ愈、純戰時體制下ニ入りマシテ、内地ノ資金ヲ十分調整シナケレバナラヌ、斯ウ云フ必要ノアル際ニ於キマシテ、其内地、外地ノ課稅率ニ非常ナ相違ガアルト云フコトニナリマスルト、可ナリ資金ガ外地ニ流レルノデハナイカ、私詳細ナ數字ハ承知シナイノデアリマスガ、現ニ臺灣銀行ノ如キハ相當預金ガ增加ヲシテ居ル、内地資金ガ臺灣ニ流出シタ、

斯ウ云フヤウナ噂モ承知致シテ居リマス、無論臺灣ハ昨年マデハ資本利子稅ガナカツタノデアルガ、昨年新設サレタ、斯ウ云フ關係モアリマセウケレドモ、大體論トシテ、四億ハ公債ニナル、大體ノ見當ハ斯様デアリマス。

○前田委員 ソコデ先づ外地ノ租稅ノ増徵額ガ、大體一千五百圓程度ノ増徵ハ少シ過ギハシナイカ、ソレガ爲ニ相當内地ノ資金ナリ或ハ事業ガ外地ニ出ルノデハナイカ、斯ウ云フ縣念ガアリマスルガ、此邊ノ事情ニ付テ御説明ヲ願ヒタイト存ジマスルガ、是ハ一應外地ノ稅額等ノ腹案ヲ確定致シマシテ、モウ少シ詳細ニ其邊ノコトヲ揃ヘマシテ、別ノ機會ニ御答辯申上ゲルコトニ致シタイト思ヒマス。

○賀屋國務大臣 御尤ナ御質問デアリマスルガ、是ハ一應外地ノ稅額等ノ腹案ヲ確定致シマシテ、モウ少シ詳細ニ其邊ノコトヲ揃ヘマシテ、別ノ機會ニ御答辯申上ゲルコトニ致シタイト思ヒマス。

○前田委員 序ニ御尋致シマスガ、臨時資金調整法ベマダ外地ニハ施行サレテ居ナイト思ヒマス、是ハ近ク實施サレルヤウナ御考ガアリマセウカ

○賀屋國務大臣 是ハ昨年ヨリ外地ニ施行ヲ致シテ居ルノデアリマス、御趣旨ノ如ク兩方一貫ヲ致シマセヌト都合ガ惡イノデアリマス、實行シテ居リマス、公債政策ニ付テデアリマス、申ス迄モナク事變以來公債ガ激増致シマシテ、現ニ臺灣銀行ノ如キハ相當預金ガ增加ヲシテ居ル、内地資金ガ臺灣ニ流出シタ、

斯ウ云フヤウナ噂モ承知致シテ居リマス、無論臺灣ハ昨年マデハ資本利子稅ガナカツタノデアルガ、昨年新設サレタ、斯ウ云フ關係モアリマセウケレドモ、大體論トシテ、四億ハ公債ガ殖エル、今日マデモソレガ爲ニ既ニ日本銀行ノ手持公債ガ、非常ニ激増致シテ居ル、最近ノ發表ニ依リマスルト、十回ノ同期ニ比較シヤスト云フト、八億圓ニ過ギハシナイカ、ソレガ爲ニ相當内地ノ資金ナリ或ハ事業ガ外地ニ出ルノデハナイカ、斯ウ云フ縣念ガアリマスルガ、此邊ノ事情ニ付テ御説明ヲ願ヒタイト存ジマスルガ、是ハ一應外地ノ稅額等ノ腹案ヲ確定致シマシテ、モウ少シ詳細ニ其邊ノコトヲ揃ヘマシテ、別ノ機會ニ御答辯申上ゲルコトニ致シタイト思ヒマス。

○賀屋國務大臣 是ハ昨年ヨリ外地ニ施行ヲ致シテ居ルノデアリマス、御趣旨ノ如ク兩方一貫ヲ致シマセヌト都合ガ惡イノデアリマス、實行シテ居リマス、公債政策ニ付テデアリマス、申ス迄モナク事變以來公債ガ激増致シマシテ、現ニ臺灣銀行ノ如キハ相當預金ガ增加ヲシテ居ル、内地資金ガ臺灣ニ流出シタ、

斯ウ云フヤウナ噂モ承知致シテ居リマス、無論臺灣ハ昨年マデハ資本利子稅ガナカツタノデアルガ、昨年新設サレタ、斯ウ云フ關係モアリマセウケレドモ、大體論トシテ、四億ハ公債ガ殖エル、今日マデモソレガ爲ニ既ニ日本銀行ノ手持公債ガ、非常ニ激増致シテ居ル、最近ノ發表ニ依リマスルト、十回ノ同期ニ比較シヤスト云フト、八億圓ニ過ギハシナイカ、ソレガ爲ニ相當内地ノ資金ナリ或ハ事業ガ外地ニ出ルノデハナイカ、斯ウ云フ縣念ガアリマスルガ、此邊ノ事情ニ付テ御説明ヲ願ヒタイト存ジマスルガ、是ハ一應外地ノ稅額等ノ腹案ヲ確定致シマシテ、モウ少シ詳細ニ其邊ノコトヲ揃ヘマシテ、別ノ機會ニ御答辯申上ゲルコトニ致シタイト思ヒマス。

○賀屋國務大臣 輸出ノ増進ニ關シマシテ

ジ或ベ勤儉力行ヲ獎勵スルコトニ依テ貯金ノ増加ヲ圖ル、サウシテ愛國心ニ憲ヘテ公債ヲ出來得ル限リ民衆ニ買ハス、斯ウ云ツタ精神上ノ御話モ種々承ッテ、吾々モ御尤ノ次第デアルト考ヘテ居ルノデアリマスルガ、併ナガラ此精神上ノ問題外ニ、積極的ニ私ヘ公債政策ヲ確立スル必要ガアルノデハナイカト思フノデアリマスルガ、之ニ付キマシテ先づ私カラ、項ヲ設ケテ御尋ヲ申上ゲタイト思ヒマス、無論此純戰時體制下ノ今日ニ於キヤシテハ、輸入ヲ出來得ル限り制限ヲ致シテ、國際收支ノ適合ヲ圖ル、

ノ私共ハ至極同感デアリマス、是ハ出來得ル限り其方針ヲ採ラナケレバナラヌト信ジマスルガ、是ト同時ニ國力ヲ充實致シテ、

サウシテ積極的ニ輸出ヲ振興スルコトニ依ッテ、私ハ國際收支ノ適合ヲ圖ルト云フコト

ガ、極メテ必要アリト考ヘテ居ルニ拘リ

マセズ、此議會ヲ通ジテ私ハ輸出振興ニ關シテ、政府ノ積極的方途ヲ聽クコトガ出來

ナカツタコトヲ甚ダ遺憾ニ考ヘテ居ルノデ

アリマス、先づ私ハ此輸出振興ニ關シマス

ル積極的ノ政府ノ御方針ヲ、承ッテ見タイト

思ヒマス

ハ、政府ハ力ヲ盡シテ之ヲ獎勵スル意味ニ  
於キマシテ、從來ヨリ御承知ノ如キ方法ヲ  
引續キ採リマスル外、若干ノ經費モ今年ノ  
商工省豫算等ニハ計上致シテアリマス、尙  
又此追加豫算ヲ以チマシテ、之ニ關スル經  
費ヲ各省トモ要求スペタ、只今折角計畫ヲ  
致シテ居ルノデアリマス、併ナガラ大體ニ  
於テ相手ノアリマスルコトデ、サウシテ國  
際情勢ハ日本ニ取リマシテ餘リ有利アリ  
マセヌ、各外地等ニ於テ、色々日本品ノ「ボ  
イコット」ナドモ行ハレテ居リマス、又明ニ  
此輸出品ニ對スル補償ノ如キモノモ、却テ  
日本ノ輸出ヲ増加スル所以デモアリマセ  
ヌ、結局ハ何ト申シマスルカ、各種ノ從來  
採ツテ居リマス方策其他ノコトヲ、氣長ク根  
ヨク詰メテヤル外ニアリマセヌノデ、一舉  
ニシテ何億ノ輸出ヲ増加スルト云フヤウナ  
計畫ハ、ドウモ商工當局其他ニ於テモ立チ  
惡イノデアリマス、併シ輸出ノ獎勵ト云フコト  
ニ付キマシテハ、是ハ第一ニ考フベキコト  
デアリマスノデ、其點ニ於テハ各國トノ通商  
ニ關シマスル協定、又今申上ゲマシタヤ  
ウナ豫算上ノ施設、商工當局ノ施設ニ付キ  
マシテハ、出來ルダケノコトハヤッテ居リマ  
ス積リデアリマス、文財政當局ト致シマジ  
テモ、其方途ニシテ有效ナルモノガ立チマ

スナラバ、之ガ經費ノ增加ハ決シテ惜マナ  
イ方針デアルノデアリマス、又只今ノ此輸  
出ノ狀況ト云フモノハ、外國ノ日本品ニ對  
スル「ボイコット」デアリマスルトカ、或ハ  
致シテ居ルノデアリマス、併ナガラ大體ニ  
於テ相手ノアリマスルコトデ、サウシテ國  
際情勢ハ日本ニ取リマシテ餘リ有利アリ  
マセヌ、各外地等ニ於テ、色々日本品ノ「ボ  
イコット」ナドモ行ハレテ居リマス、又明ニ  
此輸出品ニ對スル補償ノ如キモノモ、却テ  
日本ノ輸出ヲ増加スル所以デモアリマセ  
ヌ、結局ハ何ト申シマスルカ、各種ノ從來  
採ツテ居リマス方策其他ノコトヲ、氣長ク根  
ヨク詰メテヤル外ニアリマセヌノデ、一舉  
ニシテ何億ノ輸出ヲ増加スルト云フヤウナ  
計畫ハ、ドウモ商工當局其他ニ於テモ立チ  
惡イノデアリマス、併シ輸出ノ獎勵ト云フコト  
ニ付キマシテハ、是ハ第一ニ考フベキコト  
デアリマスノデ、其點ニ於テハ各國トノ通商  
ニ關シマスル協定、又今申上ゲマシタヤ  
ウナ豫算上ノ施設、商工當局ノ施設ニ付キ  
マシテハ、出來ルダケノコトハヤッテ居リマ  
ス積リデアリマス、文財政當局ト致シマジ  
テモ、其方途ニシテ有效ナルモノガ立チマ

船ニ依ツテ運搬サレテ居ルモノガ六千万噸、  
支那船ニ依ルモノガ四千万噸、日本船ニ依  
出ノ狀況ト云フモノハ、外國ノ日本品ニ對  
スル「ボイコット」デアリマスルトカ、或ハ  
一般ニ亞米利加等ノ不況デアリマストカ、  
ガアリマシタ點デアリマスルトカ、外國ノ、  
一體ニ亞米利加等ノ不況デアリマストカ、  
色々ナ原因モアリマスガ、尙ホ政府ト致シ  
マシテモ、爲替管理ト申シマスルカ、輸入  
品ノ許可ノ措置ニ付キマシテ、十分ニ之ヲ  
輸出當業者ノ不便ニナラナイヤウニ、其許  
可方針ノ改善ト云フコトニ十分主力ヲ注ギ  
タク、既ニ今年ニ於キマシテモ、其方針デ  
進ンデ居リマス譯デアリマス

○前田委員 無論輸出ハ相手國ノアルコト  
デアリマスカラ、意ノ儘ニナラヌト云フコ  
トハ申ス迄モナイノデアリマス、又政府ノ  
御苦心ナドモ、吾々ハ認メルノデアリマス  
ケレドモ、何トナク其間ニ熱意ガ足リナイ、  
迫力ガナイ、斯ウ云フ感ジガ私ハ致スノデ  
アリマス、ソコデ先づ御尋ラ致シマスルガ、  
私ハ輸出ノ振興ニハ、新航路ノ開拓ガ先ヅ  
必要デアルト思フ、現ニ日本ハ支那大陸ノ  
安定勢力ダト稱シテ居ル、然ルニ隣邦支那  
ニ於キマスル貨物ノ運搬狀況ヲ見マスルト  
最近一箇年間ニ於テ支那ノ貨物ハ、英吉利

程日本ノハ額モ小サケレバ地域モ狭イ、ソレヲ擴充強化シテ、サウシテ官民協力シテ新市場ノ開拓ニ當ル、是ダケノ政府ノ御決心ガアリ、政府ノ指導精神ヲ示サレルト云フコトガ、必要デアラウト思ヒマスガ、之ニ付キマシテノ大藏大臣ノ御所見ヲ伺ッテ見タイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 只今ノ航路補助等ノ如キ御話ハ、洵ニ御尤デアリマス、私共モ同様ニ考ヘマシテ、近年新シイ航路ノ開拓モ隨分出來タ譯デアリマス、又獨リ定期航路ノミナラズ、不定期ニ海外デ以テ海外諸國ノ間ヲ航海致シマスルモノニ付キマシテノ補助金ノ如キモノモ、是ハ最近ニ於キマシテ初メテ試ミタ例デアリマス、其爲ニ海運收支ノ増加ト云フモノハ相當多イノデアリマス、又是ガ貿易ニモ貢獻ヲ致シテ居ルト思フノデアリマス、併シ何分昨年ハ、折角サウ云フ風ニ出マシタモノガ、軍事上ノ必要ノコトデ、計畫ヲ致シタモノダケデモ全部其通リニ働クコトガ出來ナカッタ云フ事情モ、御察シノ通リデアリマス、御趣旨ハ全ク御同感デアリマス

○高橋委員長 速記ヲ止メテ……  
〔速記中止〕

○高橋委員長 ソレデハ速記ヲ始メテ……

○前田委員 政府ノ意ノアル所ハ能ク諒承致シテ居ルノデアリマスケレドモ、具體案ヲ立テ、サウシテ積極的ニソレヲ實行シ

ルノデハナイカト思フノデアリマス、例ヘバ輸出組合、工業組合ニ關シマシテモ、モウ少シ熱心ニ普及擴充ヲ圖ッテ貰ヒタイ、又出來ルダケ助成金ヲ増シテ貰ヒタイト考ヘ

テ居リマスガ、ソレモ一向思フ通りニ運ンデ居リマセヌ、又輸出損失補償ノ問題ノ如キモ、モウ少シ金額ヲ殖ヤシテ、サウシテ

ノ經濟工作ニ付テ、御伺ヲ致シタイト思ヒナイカト思ヒマスガ、ソコデ先ツ私ハ北支

テ密接ナ「デリケート」ナ關係ヲ持ツノデハテ居リマスガ、ソレモ一向思フ通りニ運ンデ居リマセヌ、又輸出損失補償ノ問題ノ如

キモ、モウ少シ金額ヲ殖ヤシテ、サウシテ

ノ經濟工作ニ付テ、御伺ヲ致シタイト思ヒマス、昨日デアリマシタカ、本會議デ話ガ

アックヤウデアリマスルガ、此日本ノ經濟政策ハ、申ス迄モナク日滿支三國ノ經濟

ノ政策ヲ確立シナケレバナラヌノデアリマスガ、大體北支ノ經濟工作ニ付テ、或ル程度ノ計畫ガ出來テ居ルノデアリマスカ、少ク

トモ今後一箇年間ニ、日本カラ幾ラ程ノ資

トニ付キマシテ、大體ノ案ガ出來テ居リマス

○賀屋國務大臣 マダ政府ト致シマシテ、テモ、此際徹底的ニ輸出貿易ノ振興ヲ圖ッテ、サウシテ内國力ノ充實ヲ圖ルト云フコ

トガ、先づ今日ノ場合ニ於テハ最モ必要デアラウト考ヘテ居リマスカラ、ドウゾ一つドノ位ノ資金ヲ投ズルカト云フ計畫ガ樹ツ

テ居リマセヌ、此計畫ハ非常ニ困難ナノデ

アリマス、國內金融ト國際金融トノ兩方カ

ニ關聯ヲ致シマシテ、資金ノ問題デアリマスガ、事變以來資金ガ中々要ル、ソレデ資

金調整法ト云フモノヲ持ヘタノデアリマスガ、法令實施以來既ニ十三億圓ノ放資ガ認

メラレテ居ル、斯ノ如ク私共ハ今後益、資金ノ必要ガアルノデアリマスルガ、此内地ノ

ノ必要ガアルノデアリマスルガ、此内地ノメラレテ居ル、斯ノ如ク私共ハ今後益、資金

ノ必要ガアルノデアリマスルガ、此内地ノノ必要ガアルノデアリマスルガ、此内地ノ

ノ必要ガアルノデアリマスルガ、此内地ノ

ヲ考ヘナケレバナラヌ立場ニアリマス、満洲ハ既ニ爲替管理ヲ實行ヲ致シテ居リマス、

資金調整モ實行致シテ居リマシテ、全ク經濟關係ニ於テ不可分關係ニ立ツテ居リマスル

ノデ、満洲ト日本トノ間ノ金融ハ、其關係ヲ拂フ必要ガ少クナッテ居リマスルガ、北支

ハ未ダ其域ニ參ツテ居リマセヌ、隨ヒマシテ

北支ニ對シマスル投資ヘ、北支カラ日本ニ

輸入致シマスル物、特別ノ投資ヲ考ヘマセ

ヌデ日本カラ輸出サレマスル物、此日本ト

北支ノ間ノ輸出入狀況ト、北支ト第三國ト

ノ間ノ輸出入ノ狀況、其兩方ヲ加減ヲ致シ

マセヌト云フト、日本カラノ投資……尤モ

投資ニ依リマシテモ、投資其モノノ性質ニ

依ツテ、殊ニ日本カラノ投資ガ、ソレヲ資源

トシテ北支ガ對外拂ヲ爲シマスト云フ風ナ

投資ハ、餘程ソレハ氣ヲ付ケナケレバナラ

ヌノデアリマス、サウデアリマセヌ投資ニ

付キマシテハ、鐵道其他ノモノハ、本年ト

致シマシテハ寧ロ軍事的計畫ノ中ニ、相當

進ンデ居リマス、ソレ以外ノモノニ付キマ

シテハ、今申上げマシタ如クサウ云フ、點ヲ

考ヘマセヌト、俄ニ之ヲ金額ニ於テ決定ス

ルト云フ事情ニアリマセヌ、目下折角考究

○前田委員 無論北支ノ經濟工作ヲ進メテ  
參リマスニハ、種々ナル事情ヲ綜合考察ス  
ル必要ノアルコトハ、申スマデモナイノデ  
アリマスルガ、私昨年末北支地方ノ經濟状  
態ヲ視察致シマシテ先づ感じタノハ、北  
支ノ資源ヲ開發シテ、而モ我ガ日本ノ國ニ  
價値的ニ、效果的ニ之ヲ利用スルノニハ、  
相當ノ時日ト相當巨額ノ資金ヲ投ズル必要  
ガアラウト思フ、隨テ當分ハ日本へ相當ノ  
金ヲ出シテ、サウシテ二年三年五年ノ後ニ、  
期待ヲ懸ケナケレバナラヌ、其間ニ非常ニ  
日本ハ資金ノ關係ニ於テ、苦マナケレバナ  
ラヌノデハナイカト、斯ウ云フ考ヲ實ハ懷  
キツ、歸ツタノデアリマス、恐クハ此事柄ハ、  
政府ニ於テモ能ク事情ハ御精通ニナツテ居  
ルノデアリマスカラ、私ト同ジヤウナ考ヲ  
懷イテ居ラレルト思ヒマスガ、兎ニ角當分  
コトハ出來ナイ、隨テ先づ當分ハ、日本ノ  
資金ヲ相當北支方面ニ投ズル必要ガアルト  
云フコトニナルト云フト、益、私ハ北支經濟  
工作ヲ進メナケレバナラズ、ソレガ爲ニハ  
公債ノ消化ニモ相當大ナル影響ガアルノデア  
リマス、併シ是ハ私ノ考デアリマスカラ、  
ハナイカ、斯ウ云フ考ヲ致シテ居ルノデア

別段此場合御答ヲ願フベキ必要ハナイト思  
ヒマスルケレドモ、兎ニ角モ内地へ軍需工  
業ガ段々發展ヲシナケレバナラズ、其爲ニ  
ハ資金ガ要ル、又北支ノ經濟工作ニ付テモ  
相當ナ資金ガ要ル、斯ウ云フコトニナッテ居  
リマスルカラ、私ハ今日マデ相當巨額ノ公  
債ガ、悪性「インフレーション」ヲ先ヅ大體  
ニ於テ生ムコトナクシテ、消化ガ出來タカ  
ラ、今後モヤハリ此儘デ進ンデ行ッテ、惡性  
「インフレーション」ヲ起スコトナクシテ消  
化シ得ルト政府ガ御考ニナツテ居ルト、非常  
ニ私ハ期待ニ反スルヤウナコトガ出來ルノ  
デハナイカト云フコトヲ、實ヘ心配ヲ致シテ  
居ルノデアリマス、殊ニ又本年度内ニ於キ  
マシテモ、相當巨額ノ公債ハ發行シナケレ  
バナリマセズ、又軍事費ガ通過致シマスル  
ナラバ、益々公債ガ殖エテ來ル、之ニ付キマ  
シテ私ハ無論政府デモ御自信ガアルノデア  
リマセウガ、現在ノ此儘デ行ッテ惡性「イン  
フレーション」ヲ起スコトナクシテ、消化シ  
得ルダケノ十分ノ御決心ガアルカ、或ハ相  
當總テノ方面ニ向ヅテ積極的ニ、其方針ヲ變  
ヘテ行ク必要ガアルト考ヘテ居ラレマスカ、  
大體ノ御方針デ宜イノデアリマスガ、御信  
念ヲ一つ伺ッテ置キタイト思ヒマス

三百億ノ戰費ヲ出シマシテモ、ヤッテ行ケルト云フノデナクシテ、十分努力ヲ致シ、十分ナ計畫ヲ以テ、ソレヲ實現致シテ參リマスナラバ、出來ルト云フ意味ハ今御話ノ通りアリマス、是ハ樂々ト安々ト出來ル性質ノモノデハナイト思ヒマス、大體私ハ今ノ豫算ハ實行上ハ多少ノ繰越等ガアリマスカラ、來年度ノ現實ノ募債額ハ約五十億ト見テ居リマス、是ヘ行ケルト思ヒマス、行ケルト思ヒマスケレドモ、他ノ機會ニモ申上ダマシタガ、單純ニハ行キマセヌ、五十億ト云フ大キナモノガ出マヌケラ取ルカト云フヤウナ、ソンナ考デハ到底行カナイ、銀行ヤ保險會社ヤ直接國民ガソレニ應募スルダケノ、又日本銀行ガ引受ケマシタモノヲ振出シタ際ニ、買ヒ得ルダケノ氣持ニナルヤウナ、經濟環境ニ置カナケレバナラスト云フコトデアラウト思ヒマス、唯徒ニ保險會社ニドレダケ持タス、ソレガサウナルヤウニ致サナケレバ、到底行ケナイノデアリマス、サウスルトソレ賣出ス、サウ云フ計畫ヲ致シマシテモ、銀行ニドレダケ持タス、郵便局デドレダケ

ニハドウ致シマスカト申シマスト、ドウ  
シテモソレダケノ金ト云フモノへ政府カラ  
出ル譯デアリマス、一方ニハソレダケノ  
支拂ガアル譯デアリマス、ソレガソコへ  
還ツテ來ルト云フ風ナ方策ニシナケレバナ  
リマセヌ、ソレハ前々カラ申上ゲマシタヤ  
ウニ、ドウシテモ爲替相場ヲ維持シテ、國  
内ノ物價ノ非常ナ急激ナ變動、世界戦爭中  
或ハ後ニ見ルガ如キ現象ヲ起シタノデハ、  
ドウシテモ是ハ安シジテ有價證券ヲ買フヤ  
カラモウ一つベ、前カラ申上ゲマスルヤウ  
ニ、物資ノ需給ガ調整サレテ、是モ樂ニ要  
ルダケノモノガ出來テ來ルト云フ譯デナク、  
斯ウ云フ際デスカラ、或ル種類ノモノハ缺  
乏ヲ起ス、ソレヲ極力節約シテ我慢スルト  
カ何トカ致シマシテ、結局結果ニ於テハ、  
ソレデ出合ツタンダト云フ狀況ヲ持ツテ來マ  
セヌト、ドウシテモ行ケナイト思ヒマス、  
是ハヤハリ斯ウ云フコトガ各方面ニ起リマ  
スレバ、非常ナ物價騰貴ガ起ル、戰費ヲ計  
上致シマシテモ、ソレデ買フ品物ガナイト  
バナラヌ、其二ツノコトハ根本要件デアリ

マス、サウ致シマシタ場合ニ、サウ致シマス爲ニモ、前々カラ私共ガ申シテ居リマスヤウニ、此際不足ヲ生ズル豫想ノアル物需品デアルトカ、輸入品ニ關係アリマスル底ヲ、ドウシテモ圖ラナケレバナラヌ、軍物、又旺盛ナル輸出ガ始マリマスレバ、其輸出ノ原料品ノ如キ物、其物ヲ對象ト致シマシテ、徹底的ニ消費ノ節約ヲ致サナケレバナラヌ、ソレガ基礎ニナリマシテ、一方デソレダケノ代用品デアルトカ、或ハ國內ノ資源開發ニ依リ増産ヲ致シマシテ、サウ云フモノヲ間ニ合セルコト、其物資ノ計畫ヲ立テマシタコトハ、豫算委員會デモ申シマシタ通リ、デアリマス、是ノ實行ニドウシテモ邁進シナケレバナラヌ、サウシテ行キマシタ際ニ、金錢的ニ申上ゲレバ、ソレ相当ノ節約ガ出來、貯蓄ガ出来ル譯デアリマスガ、其間ニドウシテモ此四十億ナラ四十億ノ戰費ガ出マスレバ、其中デ結局對外拂ノ決濟デ、輸入超過ヲ決濟サレル金以外ハ、國民ノ所得ニ廻リ廻シテナル譯デアリマス、是ガ直グ日用品ノ購入等ノ普通ノ生活ニ使ハレマシタナラバ、サウ云フ品物ト、アリマスケレドモ、ソレモ缺之スルヤウニ

貯蓄ノ獎勵デアリマス、是ガドウシテモソコニ  
底シテ參リマセヌケレバ、旨ク行カナイノ  
デアリマス、ソレデ今物資ノ需給ノ調整ニ  
爲替相場ノ維持モアリマシテ、今申上ゲマ  
シタ目標ノ消費節約ヲヤリ、ソレデ貯蓄ノ  
獎勵ヲ徹底的ニヤリマスニヘ、ドウシテモ  
是ハ國民ノ自覺ニ俟ツ外アリマセヌ、幾ラ  
法規デ強制シテモ、是ハ法規ノ強制デハ  
ドウシテモ漏レルコトガ出來マシテ、却テ  
逆ニ反撥スルコトニナリマスカラ、ドウシ  
テモ國民ノ自覺ニ俟ツヨリ外ナイ、自覺ヲ  
俟ツ爲ニハ政府モ、國民ノ有識者モ徹底的ニ  
努力ラシ、又シテ戴ク必要ガアルト思ヒマ  
ス、サウシテ參リマスレバ、貯蓄機關ニド  
ウシテモソレガ還流ヲ致スコトニナル譯デ  
アリマス、茲ニ之ヲ強制的ナドデヤリマス  
ト、却テ嫌氣ガ差シマス、懲リルコトニナ  
リマス、私ハドウシテモ此程度ニ於テハ強  
制ヲ用ヒタクナイ、強制ヲシナケンレバナラ  
ヌト云フコトハ、或ル意味デ場合ニ依ツテ  
ハ、是ハ破綻ノ一步前カモ知レマセヌ、  
強制ナク、ソレヲ徹底的ニヤル外方法ハナイ  
ノデアリマス、又現狀マデハ、實際ソレガ結果

ク十二年度ニ於テハ公債ノ手持ガ殖エテ、  
資金ガ増加致シマス、是ハ増加ヲセザルヲ得  
ナイ實情ニアリマスノデ、若シ是ガ賣レマシ  
タ場合ニハ、非常ニ金融ノ收縮ヲ起シマスノ  
ハ、輸入超過ガ御承知ノ如ク六億三千万圓  
モアリマス、ソレカラ又日滿共同ノ輸入超過ヘ  
モット多イ數字ニナルノデアリマス、通貨ハ  
段々ニ經濟活動ガ旺盛ニナリマシテ、餘計  
要ルヤウニナリマスシ、一方輸入超過ノ決  
済デ、兌換券ハ爲替銀行ヲ通ジテ日本銀行  
ヘ還リマスゾデ、今ノ現狀ハ極メテ自然ナ  
ノデアリマス、來年ハソレ程ノ消化ヲ起シ  
テモ、日銀ノ手持公債ハ其輸入超過ノ大體  
限度、加フルニ、經濟活動モ加ハリ、四十  
億ノ經濟活動ヲ致ス譯デアリマスカラ、兌  
換券ハ相當程度、數億ノ膨脹ヘ致シテ來  
ル、其程度ノモノハ消化シナイデモ宜シウ  
ゴザイマスケレドモ、四十億ナラ四十億ノ  
中、大體三十億以上ノモノハ、ドウシテモ  
消化シナケレバナラヌ、ソレニハ今ノ方法  
ヨリ外ハナイ、其方法ヲ熱心ニヤリマス、  
私共ハ政策ヘ今マヂ執ツテ來タ通り、チツ  
モ變ル必要ヘナイト思フ、唯其政策ノ實行  
ベナラヌ、國民ニ能ク自覺ヲシテ貰ヒマシ

レデ公債ノ保有ヲ強制スルトカ、貯金ヲ法的ニ強制スルト云フコトヲヤラズシテ、國民ノ自覺ヲ俟ッテソレデヤル、結局背景ト致シマシテハ、申上ゲマスレバ、爲替相場ノ維持、物資ノ需給調整問題、是ニハソレニ關聯シテ色々ナ問題ガ起リマス、同時ニ消費節約、貯蓄ノ獎勵、基本的ニサウシテ參リマシテ、下地ガ出來マシタ上ニ、公債ノ募集ニ付キマシテハ、之ヲ唯金融機關ノ應募賣出モヤリマス、場合ニ依レバ貯蓄債券ノ發行モ致シ、ソレカラ市場ニ金ガダブツイテ居ルヤウニナリマシタナラバ、日銀デ出スヨリモ吸上ゲルト云フ方策ヲ取ラケレバナラナイ、各種ノ方策ヲ併用シテ行カナケレバナラヌ、大體サウ云フ考ノ下ニヤル積リデアリマス

云フコトハ、マダ時機ガ尙早ダト思ヒマス  
タカ仰シヤッタ如ク、金融ノ統制マデヤルト  
實ト云フコトニ積極的ニ努力ヲスル、更ニ  
公債ノ信用ヲ維持スル、斯ウ云フコトニ萬  
全ヲ期シテ貰ハナケレバナラヌト思ヒマ  
ス、若シ政府ノ公債ニ對シテ、國民ガ多少  
デモ不安ノ念ヲ懷クト云フヤウナヨトガア  
リマスレバ、如何ニ國民ガ自覺ヲシテ政府  
ノ政策ニ協力セントシテモ、事實ハ出來ナ  
イ、ソコデドウシテモ私ハ此公債ノ信用ヲ  
維持スルト云フコトニ向ツテ、政府ノ御努力  
ヲ願ハナケレバナラヌト思ヒマスガ、是ハ  
アトデモウ少シ御尋スルコトト致シマシ  
テ、公債ニ關聯シテ資金ノ問題デアリマス  
ルガ、御承知ノ如ク、資金ガ今後段々要ツテ  
來ルト云フコトニナリマスルガ、一方ニ於  
キマシテハ輸入ガ極度ニ制限ヲサレ、ソレ  
ガ爲ニ平和産業ト云フモノハ殆ドヤッテ行  
ケナイ、斯ウ云フモノガ隨分アルノデアリ  
マス、ソコデ恐ラク全國デ輸入制限ノ結  
果、休業状態ニ陥ツテ居ル工場ガ相當アル  
ト思ヒマス、ソレデ此休業シテ居リマスル  
工場ヲ利用スル、廢物利用デアリマス、之  
ヲ軍需工業ノ方ニ轉換サセルト云フコト

ガ、此際必要ダト思ヒマスルガ、政府ハ此  
點ニ付テ御調査デモセラレタコトガアルノ  
デアリマスルカ、私ハ是ハ今後非常ニ必要  
ダト思フ、所謂廢物利用デ、之ヲ軍需工業  
ノ方ニ向ケル、一方資金モ非常ニ助カル  
シ、休業状態ニ陥ツタ平和産業ニ關係ノア  
ル人モ助カルノデアリマスガ、是ハ是非ト  
モ全國的ニ調査シテ、サウシテ軍需工業ノ  
方ニ轉換移行シ得ル工場ハ、ドシト、其方面  
ニ利用スルト云フ方針ヲ進メテ貰ヒタイト  
思ヒマスルガ、之ニ付テ調査ヲ爲サッタコト  
ガアリマスルカ、或ヘ將來ドウ云フ方針ヲ

今回ノ増税ノ目標ニ付テアリマス、是ハ屢々、本會議ニ於テ議論ヲサレタノデアリマスガ、私ハ政府ノ御答辯ガ尙ホ頭ニビント來ナキ、一體目標ハ何處ニアルノカ、ハツキリマダ私ハ認識スルヨトガ出來ナイコトヲ、甚ダ遺憾ニ考ヘテ居リマス、政府ノ御話デハ、國民全體ニ能ク時局ヲ認識サシテ、サウジテ報公ノ誠ヲ效スニ付テハ、國民ガ其分ニ應ジテ、金錢ニ依ッテ軍事費ノ一部ニ貢獻スルト云フコトガ一番大臺、斯ウ云フコトヲ第一ニ説明サレテ居ルノデアリマス、私ハ國民全體ガ能ク時局ヲ認識致シテ、分ニ應ジテ金錢ニ依ッテ軍事費ノ一部ヲ負擔スルト云フコトノ必要デアルト云フコトハ、

ラ是ガ私ハ増稅ノ目標ノ重點ニナツテハナ  
ラヌト思ヒマス、私ハ國民ガ時局ヲ認識ス  
ルト云フコトハ、即チ金錢上ノ問題ヨリモ、  
寧ロ精神上ノ發動ニ依ツテ時局ヲ認識サス  
ト云フコトガ、眞ノ政府ノ指導方針デナケ  
レバナラヌト考ベテ居ルノデアリマス、ソ  
レハ程度ノ差デアリマセウケレドモ、私ハ  
是ハ目標ノ重點デヘナイ、斯ウ考ヘテ居リ  
マスガ、若シソレガ目標ノ重點デアルナラ  
バ、私ハ今回ノヤウナ增徵ノ方針ハ誤ツテ居  
ルト思フ、眞ニ國民ガ分ニ應ジテ少シヅ、

モ増稅ノ眼目ナリトスルナラバ、寧ロ一步  
ヲ進メマシテ、苟モ國民ノ所得ノアル者ヘ、  
假令十錢デモ二十錢モ所得稅ヲ負擔シテ  
行ク、斯ウ云フ方ガ私ヘ本當ニ國民ノ意識  
ヲ明瞭ニ現ヘスコトガ出來テ、而モ餘リ副  
作用ガナインデハナイカ、現在ノ此增徵案  
ノ内容ヲ見マスト云フド、無論消費稅モ相  
當增加サレ、物品稅モ課セラレルノデアリ  
マスカラ、大體國民全體ハ少シヅ、ノ負擔  
ハシナケレバナラヌコトニナルノデアリマ  
スケレドモ、併ナガラ一方相當ノ弊害モ起  
ル心配ガアルノデアリマス、而モ又物品稅  
ノ如キハ、相當國民自體ノ懷ロハ、ソレガ  
接ニ稅金ヲ納メテ居ラヌノダカラ、眞ニ軍  
事費ノ一部ヲ自分が負擔シタモノデアルト  
云フ考ガ、國民ニビント來ナイ、隨テ若シ  
本當ニ金錢ニ依ッテ軍事費ノ一部ヲ負擔サ  
スト云フコトガ、增稅自體ノ目標デアルト  
スルナラバ、私ハ行キ方ガ少シ變ツテ來ナケ  
レバナラヌト思フ、今申上ゲタ如ク、苟モ  
デモ所得稅ヲ納メルノダ、斯ウ云フ風ニ持ッ  
テ行カレルコトガ必要デハナイカト思ヒマ  
ス、若シ政府ノ仰シヤル如ク、是ガ目標ノ

眼目デアルトスルナラバ、國民ノ中ニハ納  
稅ノ資格ノナイ者モ居ル、又酒ヤ煙草ヲ喫  
ハヌ者モ居ル、サウ云フ者ハ私ハ非常ニ異  
様ナ感ジラ致スノデヤナイカト思フ、ソコ  
デ私ヘドウシテモ此増稅ノ目標ノ重點ハ、  
サウ云フ精神的ノ方面ニ置カズシテ、ヤハ  
リ之ニ依テ財政經濟ノ上ニ相當ノ貢獻ヲ  
スルノダ、斯ウ云フ意味ニ一ツ持ッテ行ッテ  
貫ヒタイト思フノデアリマスガ、此處デ私  
ハ大藏大臣ニ此點ニ關スル率直ナ御所見ヲ  
承ツテ置キタイト思ヒマス

ニ精神的デハアリマスガ、其分ニ應ジテ貢獻ヲスルコトガ必要デアル、此意味デ銃後ノ貢獻ト云フコトヲ申シタ譯デアリマス、ソレハ無論金錢ノ貢獻デアリマスカラ、是ガ財政上ニ貢獻ヲ致シテ、是ノ一助ニスルト云フコトハ無論デアリマス、元來此經濟上ノ惡作用ト云フコトヲ考ヘマセヌナラバ、私ハ戰費ハ全部其時ノ國民ガ、租稅デ支辨スペキモノデアルト思フ、併ナガラ一時ニ非常ニ巨額ナ戰費ガ要ルノデアリマスカラ、之ヲ増稅ニ依シテ全部支辨スルト云フコトハ、到底困難デアリ、假ニサウ云フ暴舉ヲ致セバ、非常ニ經濟上ニ害惡ガアルト云フコトハ、是ハモウ議論ヲ要サス所デアルト思ヒマス、出來ルダケ租稅デ之ヲ支辨スル、併シ經濟上ノ發達ヲ害シタリ、國民ノ生活ヲ忍ブベカラザル程度ニ壓迫スルト云フコトハ、是ハ避ケネバナラヌ、此二ツノコトヲ避ケ得レバ、出來得ル限り此事變ノ經費ヲ片付ケテ、後代ニ公債ト云フ負擔ヲ貽シマシテ、後代ノ國民ニ租稅デ此元利ヲ拂ヘスト云フコトヲ避ケルコトハ、當リ前ダト思ヒマス、其意味ニ於キマシテ、精神的ナ方面ハ無論デアリマスガ、其實現ノ方面デモ御話ノ如ク、漸次財政ニ貢獻ヲスル、斯

○前田委員 無論私共モ此巨額ナ軍事費ヲ、全部公債ニスルト云フコトノ妥當デナ  
イト云フコトモ、考ヘテ居リマス、隨テ出来得ル範圍ニ於テ増税ヲ以テ其財源ニ充當サ  
スト云フ政府ノ御方針モ、吾々ハ同感デアル  
ノデアリマス、又戰時ニ第一線ニ立ツテ居リマス  
ル將兵ガ、尊キ血稅ヲ拂ツテ居リマスル以上  
ハ、吾々國民ガ分ニ應ジテ負擔ヲシテ行ク  
ト云フ政府ノ意モ、吾々ハ諒トシテ居ルノ  
デアリマス、併ナガラ重ネテ申シマスガ、  
私ハ増税ノ是ガ本當ノ重點デナクテハナラ  
ヌ、寧ロ私ハ重點トスル所ハ、増税ニ依ツテ  
財政ノ基礎ヲ出来得ル限り確立ラシテ、サ  
ウシテ公債ノ信用ヲ高メテ、公債ノ消化力  
ヲ強化スルト云フコトニアルノデハナイカ  
ト思フノデアリマス、ソコデ吾々民政黨ニ  
於キマシテハ、ドウシテモ少クトモ軍事費  
ニ要シマスル公債ノ利子ダケハ、將來増税  
ヲ以テ支辨スルコトガ正シイノデアルカラ、  
之ヲ明ニ國民ニ示スコトニ依ツテ、國民ハ巨  
額ナル公債ニ對シテ信用スル、サウシテ公  
債ノ市價モ維持ガ出來テ、公債ノ消化力モ  
圓滑ヲ期シ得ルノデアルト、斯様ニ考ヘテ  
居ルノデアリマスルガ、之ニ對シテ大藏大  
臣ヘ、經常支出ニ對シテハ、經常收入ヲ以

アル、斯ウ云フ程度ノ御言明ハアリマスル  
ガ、モウ一步進ンデ、公債ノ利子ダケハド  
ウシテモ將來増稅デヤルノダ、サウシテ公  
債ノ信用ヲ高メルコトニ依ッテ、公債ノ消  
化力ヲ増スノダト云フ所マデ、實ハ御言明  
ノナイコトヲ甚ダ遺憾ニ考ヘテ居ルノデア  
リマスルガ、或ハ大藏當局ノ責任上、肚ハ  
其處ニアツテモ表面ニサウ云フ言葉ガ出セ  
ナイノデハナイカト云フコトモ、實ハ考ヘ  
テ居ルノデアリマスルケレドモ、私ハヤハ  
リ、ハツキリ此公債政策、財政政策ノ指導方  
針ヲ、國民ニ示シテ貰フト云フコトガ、此  
場合最モ必要デハナイカ、斯様ニ考ヘテ居  
ルノデアリマスガ、重ネテ此點ニ付テ大藏  
大臣ノ御所見ヲ伺ヒマス

トガ、現在ヨリモ財政ノ基礎ヲ悪化シナイト云フコトニナルノデアリマスカラ、其意味デ之ヲ努メルト云フコトヲ、昨日モ申上ゲマシタ譯デアリマス、其大體ノ方針ニハ變リハアリマセヌ、唯是ガ細カクナリマシテ、ドノ位事變公債ガ出ルカ分ラナイ、又其外恩給ヤ其他ノ經常歳出ガ殖エル、隨テソレニ該當スル利子ヘ、ソレダケ直グ増稅スルト云フヤウニモ、實際吾々ハ參ラスト思ヒマス、增稅ノ關係ハ一面ニ國民ニモ相當ノ犠牲ヲ忍ンデ貰ハナケレバナリマセヌガ、非常ニ不當ニ急激ニ國民生活ヲ壓迫シ、又經濟力ノ發展ヲ阻害スルト云フコトヘ、是ハ角ヲ矯メテ牛ヲ殺スヤウニナリマスカラ、其增稅ヲ致シマスル時期、程度等ヘ、又別ノ考カラモ出發ヲ致サナケレバナリマセヌ、經濟上ノ事情其他ニ依ツテ、場合ニ依テハ相當增稅ヲ見合シテ、公債ニ依ツテ財政ヲ支辨シテ行ク方ガ、經濟上宜イ場合モ起リ得ルト思ヒマス、故ニ大體ハモウ御言葉ノ通リニ、几帳面ニ實行スルト云フコトハ、此變化ノ多イ現狀デアリマスカラ、私ハ困難デアルト思ヒマス、故ニ大體ノ趣旨ハ御同感デアル、サウ云フ方針ニ努メルト、斯様ニ申上ゲタ次第デアリマス

○前田委員 大體ニ於テ吾々ノ趣旨ヲ認メテ戴キタイノデアリマスカラ、私ハ此問題ハ是以上ハ御尋致シマセヌガ、無論經濟狀態ハ年ニ變ルノデアリマスカラ、今日公債ノ利子ハ是非增稅デヤレ、斯ウ云フ考ヲ持テ居リマシテモ、將來永久ニ此方針デ飽迄モ押通セト云フ考ヘデハナイノデアリマス、ヤハリ經濟上ノ變化ニ應ジテ、適當ナル方針ヲ採ラネバナラヌコトハ勿論デアルト云フコトヲ、此際申上ゲテ置クノデアリマスガ、午後三時カラ本委員會ヲ繼續シタイト思ヒマスカラ、此程度デ此場合切ッテ、午後ニ御續ケニナッテハ如何デスカ

○前田委員 宜シウゴザイマス ○高橋委員長 前田君ニ一寸御諸リ致シマスガ、午後三時カラ本委員會ヲ繼續シタイト思ヒマスカラ、此程度デ此場合切ッテ、午後ニ御續ケニナッテハ如何デスカ

○高橋委員長 ソレデハ休憩ニ入ルニ先立チマシテ、御含ミ迄ニ申上ゲテ置キタイノデスガ、水谷君ヨリ輸出振興策ニ關シテ、利害相半バスルモノデアル、單ニ輸出ノ振興ダケデアリマセヌ、爲替問題ニモ關聯スル問題デアリマスガ、外國電報ヲ見レバ、英吉利ト伊太利トノ交渉開始ノ第一番ト致シテ大藏大臣ハ時々此委員會ニ御出席ヲ願フ

○賀屋國務大臣 積リデアリマスシ、是ハ相當大キナ問題デテ大藏大臣ハ時々此委員會ニ御出席ヲ願フ當時商工大臣ガ言明サレマシタトキニ、爲替清算協定ノ目標トシテ、亞米利加、獨逸ガ上ツテ居リマシタガ、此獨逸ノ問題モ今度「ヒットラー」ガ世界ニ宣明致シマシタ滿洲國ノ承認ヲ含シテ政治方針其他ノ宣明カラ、申シマシテモ、稍、可能的ニナッタヤウナ傾向ニアル、或ハ英吉利ノ外交方針ノ變更ニ許可致シマス——水谷君

ハ、現ニ日本ノ、何ト申シマスカ、或ル經濟上ノ協定ヲ言ツテ居ル人モアリマス、併シ只今ノ所ノ獨逸、伊太利ト清算協定ガ直グ出來ルト云フ事情ニハアリマセヌ

○水谷委員 唯一點此際明確ニシテ置キタ

イコトハ、大藏當局ガ輸出振興ノ具體の方法トシテ、將來モ之ヲ考ヘテ居ルカドウカト云フ點ダケデアリマス

○賀屋國務大臣 其點モ無論考ヘテ居リマシテ、有エルモノヲ驅ツテ居リマスルノハ、何ト申シマスカ、少シデモ良イ材料ハ皆ヤラウト思ツテ居リマス、其範圍トシテ、無論サウ云フヤウナコトヲ、コチラカラ申込み方ガ都合ガ好ケレバ申込マウト考ヘテ居リマス、研究ハシテ居リマス

○高橋委員長 ソレデハ午前中ハ此程度ニ於テ休憩致シタイト思ヒマス、午後ハ大藏大臣ノ御出席ノ都合ニ依リマシテ三時ヨリ開會致シマス、是デ休憩致シマス

午後零時十三分休憩

○高橋委員長 開會致シマス、午前ニ引續

キ質疑ヲ繼續致シマス、議事進行ニ付テ森田君ヨリ發言ヲ求メテ居ラレマス、御許致シマス

○森田委員 一寸政府委員ノ方デ宜イノデ

スガ、支那事變ノ特別稅ノ勅令條項ト命令要項ハ、何時頃出ルノデセウカ、アレヲ一番早ク見セテ貰ヒタイト思フノデスガ

○大矢政府委員 一兩日中ニ提出致シタイ

ト思ヒマス

○前田委員 午前ノ質問ニ關聯致シマシテ、一項ダケ御尋ラ致シテ置キタイト思ヒマス、今回第三種所得稅ノ免稅點ヲ、千圓ニ引下

ダルコトニ依リマシテ、納稅者ガ四十万二千人、稅額四百六万九千圓增收サレルト云

フコトニナッテ居ルノデアリマスガ、此四十

万二千人ト云フノハ、擔稅能力ガ十分アリ

トシテ課セラレルコトニナッテ居ルノデア

リマスカ、或ハ國民全體ヲシテ、金錢ニ依

テ軍事費ノ一部ヲ負擔サスト云フコトニ重

キヲ置イテ、引下グラレタノデアリマスカ

此點ヲ御伺致シマス

○賀屋國務大臣 免稅點ヲ千圓ニ引下ダマ

シタコトニ付キマシテハ千二百圓ト千圓ト

ノ間ノ階級ガ、擔稅力十分ニアリト云フコ

トハ、平素ノ考カラ申セバ、サウ云フコトハ

困難デアルト思ヒマス、十分デハアリマセヌガ、只今免稅サレテ居リマス中デハ、比較的擔稅力アル者ニ近イ方ノ階級デアリマスノト、今御話ノヤウニ成ベク多數ノ國民

ガ、直接ニ此戰費ヲ負擔スルノガ適當ト認

メマシテ、引下ダマシタノデアリマス、引下ダマシタ程度ハ、或ハ人々ノ考ニ依リマシテハ、輕微ノ稅率ナラバ、モウ少し下マシテモト云フコトモアルト思ヒマスケレドモ、併シ何レスウ云フコトニナリマスレバ、物價モ騰貴致スモノモアルノデアリマスカラ

擴ゲル趣旨カラ申セバ甚ダ行キ足リナイトモ思ヒマスケレドモ、兩方ノ點ヲ考ヘマシテ、アノ程度ニ止メルコトヲ適當ナリト考ヘタ次第デアリマス

○前田委員 モウ少シ後デ宜シイノデスガ、商工大臣ノ御出席ヲ希望致シマス

○高橋委員長 出席ヲ求メテ居リマス、間モナク御出席ニナルデセウ

○前田委員 是ヨリ支那事變特別稅法ノ施行期間ニ付テ、御尋致シタイ、同法第七十

六條ニ依リマスト「本法ハ支那事變終了後其ノ翌年十二月三十一日迄ニ之ヲ廢止スルモノトス」斯様ニ規定サレテ居ルノデアリマス、無論第一條ニハ「當分ノ内」ト云フ文字

遠デアラウト思ハレマス、是ハ私ガ繰返シ申ス迄モナク、政府ニ於テモ能ク御諒承ノコトト存ズルノデアリマスガ、假令此支那事變ガ終局ノ目的ヲ達スルト致シマシテ

申ス迄モナク、政府ニ於テモ能ク御諒承ノコトト存ズルノデアリマスガ、假令此支那事變ガ終局ノ目的ヲ達スルト致シマシテ

モ、恐ラク今後支那ニ於テハ、相當大軍ヲ駐屯サセル必要ガアルト思ヒマス、恐ラク支那ノ新政府ニ關スル限り、國防竝ニ治安

ノ維持ハ、賞分日本ガヤラナケレバナラヌ、斯ウ云フ實情ニ置カレテ居ルト思ヒマ

ス、之ニモ相當ノ金ガ要ル、ノミナラズ、今日ノ國際上ノ客觀的情勢カラ見マスル

ト、軍備ノ競爭ハ必至デアル、今後軍備ハ益、擴大セラレナケレバナラナイ傾向ヲ辿

トヲ公約ヲサレタノデアリマスガ、其後支那事變ガ勃發ヲシテ、經濟事情モ變化ヲ致シ、又國民ノ所得モ不安定ニナツタ、斯様ナ理由ノ爲ニ中央地方ヲ通ズル一般改正ヲ行

フコトナクシテ、今回增稅案ヲ提出サレタ

ノデアリマス、一應支那事變ノ爲ニ經濟事

情ガ變化ヲ致シタ、國民ノ所得ガ不安定ニナツタ、此事實ハ私モ認メ得ルノデアリマス、認メハ致シマスガ、併ナガラ是ガ爲ニ

ノデアリマス、一應支那事變ノ爲ニ經濟事

情が變化ヲ致シタ、國民ノ所得ガ不安定ニナツタ、此事實ハ私モ認メ得ルノデアリマス、認メハ致シマスガ、併ナガラ是ガ爲ニ

テ居ル、斯様ナコトヲ考ヘマスト、假令支那事變ガ終局ノ目的ヲ達シ得ルト致シマジテモ、今後私ハ非常時局ト云フモノハ、相當長ク續ク、隨テ現在ノ此經濟情勢ト云フモノハ、半恒久化スルト認メテ差支ガナインデハナイカト思ヒマス、隨テ私ハ現在ノ經濟事情ヲ基礎トサレマシテモ、一般ノ中央地方ヲ通ズル稅制改革敢テ不可能デナイ、斯様ナ見解ヲ持シテ居ルノデアリマシテ、ドウモ其點ニ付テ政府ガ公約ヲ無視シテ、一般ノ稅制改革ヲ斷行サレナカッタ理由ガ、本當ニ那邊ニ在ルノデアルカト云フコトノ了解ニ苦シムノデアリマス、先づ此點ニ付テ政府ノ御所見ヲ伺ヒタイト存ジマスガ、其變動ガ相當安定スル——落付ク時ヲ得ニ付キマシテモ、色々變動ヲ生ジマシテ、其變動ガ相當安定スル——落付ク時ヲ待ツベキモノデアラウト考ヘルノデアリマス、例ヘバ或ル事業ハ非常ニ利益ガアリ、或ル事業ハ事變ニ關シマシテ、或ヘ政府ノ政策ト言ヒマスカ、爲替管理等ノ爲ニ利益ガ從前程ハナイト云フ風ニ、事變デ擔稅力ハ變化ヲ致シマス、其際ニ恒久的ノ稅制ヲ立テルト致シマシテモ、擔稅力ノ見透シハ十分ニ付カナイ譯アリマス、隨テ此事變

中ハ、普通ナラバソレガ落著カナイ時ニアウト思ヒマスガ、併シ今前田委員ノ御觀測ニナリマスヤウニ、事變ト云フ名ノ下ニ於テモ半永久的ニ假ニ事態ガナルト致セバ、ソコニ相應ノ經濟事情、擔稅力ノ落著キト云フモノガ出來テ參リマスレバ、ソコデ基本的ノ改正ハ出來ルト思ヒマス、要スルニ事變ニ依ツテ急ニ變化ヲ致シマシテ、或ル事業ハ非常ニ利益ガアリ、或方ハ餘リナク、例ヘバ金融ニ致シマシテモ、昨年ノ如キハ株ノ拂込ハ著々行ハレルケレドモ、社債ノ發行ハ行ハレナイトカ、色々變質狀態ヲ呈シマスノデ、是ガ或ル安定點ニ參リマシタナラバ、理論的ニ申セバ、ソレガ縱令事變中ト雖モ、稅制整理ハ可能ダト私ハ思フノデアリマス、延バシマシタ理由ハソコニアルノデアリマス、本法ヲ事變終了後其翌年十二月三十一日ト致シマシタノハ、サウ云フ事態ガ事變中ニ來ルト云フコトヲ、必シモ斷定スル譯ニ參リマセヌト、此法律ニ依ツテ稅收入ハ軍事費ノ財源ニナッテ居リマス爲ニ、一應斯ク事變ノ終了ト云フコトト關聯ヲ持タセマシテ、終期ヲ定メマシタノデアリマス、ソレモ事變後ニ於テモ、只今前田委員ノ御觀測ニナリマスヤウニ、此增稅ヲ止メマシテ、ソレキリデ增稅ガナクテハ濟

マヌ時代デアラウト今デヘ想像サレマス、  
サウ云フ際ニ基本的ノ改正ヲ致シ、斯ウ云  
フ臨時税デナク、別ノ増税案モ其基本的ノ  
整理ト共ニ出サナケレバナラヌデアラウト  
云フコトモ豫測致シマシテ、此臨時税法ニ  
期限ヲ附シタヤウナ次第デアリマス  
○前田委員　一應大藏大臣ノ御説明ハ私共  
諒トスルノデアリマスケレドモ、實際問題  
トシテ、現在ノ經濟事情ノ下ニ、中央、地  
方ヲ通ジテ根本的改革ヲヤウラト云フ決意  
ガアレバ、強チソレハ不可能デナイヤウナ考  
ヘ方ヲ私ハ持ツテ居ルノデアリマス、甚ダ  
寒ッタコトヲ申シテ失禮ニ當ルカモ知レマ  
セヌガ、私ハ之ヲ延期サレタニ付テハ、寧  
ロ他ノ理由ガアルノデハナイガ、一ツハ事  
務の關係デ非常ニ御多忙デアル、支那事變  
ガ勃發シテ事務當局ハ非常ニ御多忙デアッ  
テ、非常ニ手數ノ掛ル根本的改革ヲヤル時  
間ガナカッタ、斯ウ云フコトモ一ツノ原因デ  
ナイカト忠ヒマヌ、更ニ私ハ寧ロ延期サレ  
タ本當ノ理由ハ、中央、地方ヲ通ジテ稅制  
ノ根本改革ヲ斷行致シマスノニハ、何ヲ差  
措イテモ地方稅ノ惡稅ノ改廢シヲナケレバ  
ナラヌ、例ヘバ戸數割ノ如キハ、是ハ地方財  
政補給金デ約半額ハ減ッタノデアリマスケレ  
ドモ、是ハ何トシテモ廢止ヲシナケレバナ

トカ、其他地方ニヘ自轉車稅トカ、荷車稅止致シテ、中央カラ其廢止シタダケノ額ヲ交付致シマスノニハ、中央國稅ニ於て相當ノ財源ヲ見出サナケレバナリマセヌ、私ハ延期サレタノハ、寧ロ其國稅ノ財源ヲ見出スコトニ非常ニ苦心ヲサレテ、結局延期サレ云居ルノデハナイカ、是ハ或ハ臆測ニナルカモ知レマセヌガ、實ハ左様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、寧ロ國稅ノ適當ナル財源ヲヘ發見サレ、バ、進ンデ地方稅、中央國稅ノ根本的改革ヲ斷行サレルノデハナイカ、私ノ臆測ガ若シ間違テ居タラ、甚ダ相濟マヌト思ヒマスガ、ドウモサウ云フ風ニシカ解スル外途ガナイノデアリマス、ソコデ私ハ是以上ヘ水掛論ニ涉ルノデアリマスガ、一應御尋申上ゲタイノハ、地方稅ノ惡稅ハドウシテモ速ニ廢止シナケレバナラヌト思フ、ソレニハ恐ラク一億圓以上ノ財源ヲ要スルノデハナイカト思ヒマスガ、然ラバ現在ノ國稅デドノ方面カラソレヲ漁ルカ、ドウ云フ新稅ヲ設ケテソレヲ補填スベキカ、此點方私ハ重大問題デナイカト思フノデアリマス、ソコデ問題ヘ新シイ所ノ稅源ヲ發見ズルニハ、ドウ云フ稅ヲ取ッテ來ルガ此場合宜イノデアルカ、斯ウ云フコトモ考ヘ

ナケレバナラヌノデアリマスガ、私ハドウシテモヤハリ財產稅ヲ新設スルト云フコトガ最モ妥當デハナイカ、是ハ私一個ノ考デハアリマスガ、常ニ考ヘテ居ルノデアリマス、即チ財產稅ヲ新設スル外ニ、物品ノ賣上稅ト云フモノノ新設スル必要ガアルノデハナイカ、此財產稅ナリ賣上稅ヲ新設シナケレバ、私ハ一億圓以上ノ地方ノ交付金ヲ、恒久的ノ財源ニ依ッテ補填スルト云フコトハ、ムヅカシイノデハナカラウカト思フ、現在ノ稅ヲ其儘デ、唯其率ヲ殖ヤシテ行クト云フコトデヘ、非常ニ產業ヲ壓迫シテ、惡イ所ノ作用ガ起リハセヌカト思フ、寧ロ此際ハ斯ウ云フ新稅ヲ起シテ、サウシテソレヲ財源トスルコトニ依ッテ地方ノ惡稅ヲ廢止スル、サウ云フコトニシナケレバ、本當ノ稅制ノ改革ハ斷行シ得ナイノデハナイカト云フ考ヘ方ヲ持ッテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ點ニ付テ大藏當局トシテ御研應所見ヲ伺ッテ見タイト思フノデアリマス○賀屋國務大臣 稅制整理ヲ延期致シマシタ理由ハ、前ニ申述ベタ通リデアリマス、財產稅ノ御尋デアリマスガ、此稅ハ理窟力ラ申セバ、相當道理ノアル點モアルト思フノデアリマス、併シ實際ノ事情ハ、是ガ所

得其モノニ賦課スルモノデアリマセヌ爲ニ、  
之ニ相當高率ノ稅ヲ課シマスコトハ、困難  
デアルト思フノデアリマス、隨テ又之ニ多  
額ノ擔稅力アリト認ヌル譯ニハ、中々參リ  
マセヌト思フノデアリマス、其上ニ徵稅技  
術上非常ナル困難ガアリマシテ、動モスレ  
バ是ハ不動產ニ重課スル、有價證券、不動  
產ニ限ルヤウナ狀況ニモナルト思フノデア  
リマス、サウ致シマスト、他ノ稅法ニ付テ  
モ、サウ云フモノナラバ、幾ヲモ是ハ課稅  
ヲ捉ヘ得ル點モアルト思フノデアリマス、  
隨ヒマシテ此財產稅ヲ起スト云フコトハ、  
尙ホ餘程研究ノ餘地ガアルト考ヘルノデア  
リマス、又賣上稅ハ財產稅以上ニ研究ノ餘  
地ガアルト思フノデアリマス、所謂賣上稅  
ハ賣買ノ度毎ニ課スルノデアリマスノデ、  
生産或ハ販賣ノ經濟上ノ過程ガ、偶然ニ其  
回數ガ少イモノト、多キモノトノ間ニハ、  
非常ナル不公平ヲ生ズルノデアリマス、是  
ハ稅ノ理論カラ申シマシテモ、根本的ノ缺  
陷ヲ藏シテ居ル問題デアリマス、之ヲ恒久  
的稅制トシテ考ヘマスコトハ、是ハ餘程困  
難デハナイカ、多分ニ研究ノ餘地ガ残ツテ居  
ルモノデアリマス、俄ニ是ハ實行出來ナイ  
モノデアルト考ヘテ居リマス

トハ考ヘテ居ラヌノデアリマス、十分研究ノ餘地ガアルト考ヘテ居リマスガ、併ナガラ地方ノ悪税ヲ廢止スルニヘ、ドウシテモ一億圓以上ノ新シイ財源ヲ見出サナケレバナラヌ、隨テ斯ウ云フモノニ付テモ相當御研究ノ必要ガアルノデハナイカ、無論財產稅或ハ賣上稅ニ限タコトデハアリマセヌ、其他ノ新稅ニ付テモ、今カラ十分ノ御研究ヲ願フ必要ガアル、斯様ニ考ヘテ一應御尋ヲ申上ゲタノデアリマス、更ニ此事變ノ關係デアリマスガ、成程昭和十二年ハ、事變ガ勃發ヲ致シテ、サウシテ經濟事情其他ニ非常ナ變動ガ起ツタ、隨テ一應之ヲ延期サレルト云フ理由ハ、吾々モ諒ト致シテ居ルノデアリマスケレドモ、併ナガラ私ヲシテ言ハシムレバ、ヤラウトスレバヤレナイコトハナカツタ、他ノ理由ガアッタカラ延期サレタノデヤナイカ、斯様ナ實ハ推察ヲ致シテ御尋申上ゲタノデアリマスガ、併シモウ十三年ハ十二年ト餘程事情ガ異ツテ來ルノデヤナイカ、大體ニ於テ戰時體制下ノ此經濟狀態ト云フモノガ、稍、平衡ニナッテ來ル、安定シテ來ル、斯ウ云フコトデ、前途ノ見透シモ大體ニ於テ付クノデアリマスルカラ、私ハ此十三年中ニ中央、地方ノ稅制ノ改革ノ準

備ヲ十分サレテ、サウシテ次ノ普通ノ議會ニハ、一ツ地方、中央ヲ通ズル根本的ノ稅制改革案ヲ提出サレテハドウカ、左様ナコトヲ實ヘ熱望致シテ居ルノデアリマス、隨テ此七十六條ニハ「支那事變終了後其翌年十二月三十一日迄ニ之ヲ廢止スルモノトス」トアリマスルガ、寧口私ハ左様ナ時局ノ前途ト云フモノハ、殆ドマダ見透シガ付カナシ、隨テ左様ナ悠長ナルコトヲ茲ニ規定スルヨリモ、本當ニ政府ハ此際速ニ一般ノ稅制改革ガ必耍ダ、サウシテ稅制改革ヲヤッテ、國民ノ負擔ヲ均衡サセテ、其上ニ立ツテ必要ナモノハドシヽ増稅ヲシテ行ク、斯ウ云フ立方ガ戰時經濟ヲ處理シテ行ク上ニ於テ必要ダト云フコトデアルナラバ、私ハ此十三年度ハ、大體ニ於テ經濟界ト云フモノハ見透シガ付イテ來ルノデハナイカト思ヒマスルカラ、一ツ此來ルベキ普通議會ニハ根本的ノ稅制改革案ヲ出ス、斯ウ云フ御考ノ下ニ、斯ウ云フ長以前途ノ見透シガ付カヌヤウナ廢止期間ヲ設ケルコトハ止メラレマシテ、寧ロ率直ニ之ヲ一年位テ止メル、斯ウ云フ風ニ御規定ニナルト云フ方ガ、國民ガ安心スルノデハナイカ、又ソレガ本筋デハナイカ、速ニ國民ノ負擔ノ均衡ヲ圖ツテ、サウシテ今後事變ノ進展ニ伴フテ、本當ニ

軍費ガドン／＼要ツテ來ル公債バカシデヤッ  
テハイケナイノダ、ドウシテモ一部へ増稅ニ俟ツノダト云フナラバ、其負擔ノ均衡ヲ圖ツタ基礎ノ上ニ立ツテ增稅ヲヤッテ、サウシテ而モ其增稅案ト云フモノハ、現在アルガヤウニ、幾度モ增稅案ヲ出シテ居ラレル本當ノ負擔ノ均衡ノ基礎ノ上ニ立ツテ、單一化シタ增稅案ヲ持ヘルト云フコトガ、國民ヲシテ其轍フ所ヲ知ラシムルト云フコトニ相成ルノデハナカラウカト思フノデアリマスガ、之ニ付キマシテ大藏大臣ノ御所見ヲ伺ツテ見タイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 支那事件ノ前途ニ關シマシテ、只今ノ御説ノヤウナ觀察モ私ハ出來ルト思ヒマス、併ナガラ此變化ノ多イ今ノ世界ノ情勢ニ於キマシテ、サウ云フ風ニ果シテ此十三年ガ参リマスカドウカ、是ハドウモ私ハ豫斷ガ出來ナイト思ヒマス、出來レガ當分續クト見マシタナラバ、稅制ノ整理改革ヲ致スベキモノダト云フコトハ、全ク御同感デアリマスルガ、十三年度ガサウ云フ時機ニナルト云フコトヲ今見定メマンテ、必ズサウ云フ風ニ致スト云フコトハ、只今ノ所未ダ考慮ノ餘地ガアルノヂヤナイ

カト思ヒマス

○前田委員 無論國內ノ情勢ハ國際ノ事情ニ依ツテ變化スルノデアリマシテ、恐ラクハ

今日ノ國際的客觀情勢カラ見マスト、何人ト雖モ私ハ一年、二年先ノ事ヲ豫斷スルコトハ出來ナイト思ヒマス、是ハ來年ニナッテモ、再來年ニナッテモ、何時ドウ云フ變化ガ起ルカ分ラナイノデアリマスカラ、若シソレラ心配シテ稅制ノ根本改革ヲ延期スルノダト云フコトニナレバ、恐ラク私ハコヽ五年經ツテモ、六年經ツテモ、一般ノ稅制改革ト云フコトハ不可能ニナルノヂヤナイカト思ヒマス、大體ノ國際ノ情勢ト國內ノ事情ヲ考慮シテ、サウシテ兎モ角モ速ニ國民ノ負擔ノ均衡ヲ圖ル、ソレガ政府ノ責任ダ、アルト思ヒマス、併ナガラ此變化ノ多イ今ノ世界ノ情勢ニ於キマシテ、サウ云フ風ニ果シテ此十三年ガ参リマスカドウカ、是ハドウモ私ハ豫斷ガ出來ナイト思ヒマス、出來レガ當分續クト見マシタナラバ、稅制ノ整

トテ見タイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 支那事件ノ前途ニ關シマシテ、只今ノ御説ノヤウナ觀察モ私ハ出來ルト思ヒマス、併ナガラ此變化ノ多イ今ノ世界ノ情勢ニ於キマシテ、サウ云フ風ニ果シテ此十三年ガ参リマスカドウカ、是ハドウモ私ハ豫斷ガ出來ナイト思ヒマス、出來レガ當分續クト見マシタナラバ、稅制ノ整

理改革ヲ致スベキモノダト云フコトハ、全

ク御同感デアリマスルガ、十三年度ガサウ

云フ時機ニナルト云フコトヲ今見定メマン

テ、必ズサウ云フ風ニ致スト云フコトハ、

只今ノ所未ダ考慮ノ餘地ガアルノヂヤナイ

尋ヲ申上ゲタイノハ、只今大藏大臣ガ御述

ノ通り、支那事變ノ爲ニ經濟事情ガ非常ニ

變ツタ、國民ノ所得モ不安定ダ、是ハ何人モ

ト雖モ私ハ一年、二年先ノ事ヲ豫斷スルコ

トハ出來ナイト思ヒマス、是ハ來年ニナッテ

モ、再來年ニナッテモ、何時ドウ云フ變化ガ

起ルカ分ラナイノデアリマスカラ、若シソ

レラ心配シテ稅制ノ根本改革ヲ延期スルノ

ダト云フコトニナレバ、恐ラク私ハコヽ五

年經ツテモ、六年經ツテモ、一般ノ稅制改革

ト云フコトハ不可能ニナルノヂヤナイカト

思ヒマス、大體ノ國際ノ情勢ト國內ノ事情

ヲ考慮シテ、サウシテ兎モ角モ速ニ國民ノ

負擔ノ均衡ヲ圖ル、ソレガ政府ノ責任ダ、

アルト思ヒマス、併ナガラ此變化ノ多イ今ノ

世界ノ情勢ニ於キマシテ、サウ云フ風ニ果

シテ此十三年ガ参リマスカドウカ、是ハド

ウモ私ハ豫斷ガ出來ナイト思ヒマス、出來

レガ當分續クト見マシタナラバ、稅制ノ整

理改革ヲ致スベキモノダト云フコトハ、全

ク御同感デアリマスルガ、十三年度ガサウ

云フ時機ニナルト云フコトヲ今見定メマン

テ、必ズサウ云フ風ニ致スト云フコトハ、

只今ノ所未ダ考慮ノ餘地ガアルノヂヤナイ

アルヤウデモデアリマス、都市ニ於テハ良

イモノト惡イモノガアルト思ヒマス、農村

ノ方面ハ、是ハ觀察ノ仕様デアリマスガ、

例ヘ昨年ノ如キ米作ノ收量ガ相當宜シイ

スルコトガ出來マシタノモ、事變ノ影響カ

ト思ヒマス、サウ致シマスレバ、農村ノ方

面ニ於キマシテモ、只今ノ所事變デ非常ニ

市ヘ相當好影響ヲ及ボシテ居ル、農村ハ反

對ニ惡イ影響ヲ及シテ居ルコトハ、常識上

何人モ考ヘ得ル事實デアリマスガ、大體都

市ニ於ケル國民ノ擔稅力ト、農村ニ於ケル

國民ノ擔稅力ガ、ドウ云フ風ニ變化ヲ致シ

市ニ於ケル國民ノ擔稅力ト、農村ニ於ケル

國民ノ擔稅力ガ、ドウ云フ風ニ變化ヲ致シ

市ニ於ケル國民ノ擔稅力ト、農村ニ於ケル

國民ノ所得、擔稅力ヲ市町村ト分ケ

カ、國民ノ所得、擔稅力ヲ市町村ト分ケ

テ、事變前ヲ百ト致シマシテ、現在ドウナッ

テ居ルカ、單ニ指數ダケデ結構デアリマス、

是ハ特別稅法ヲ出斯場合ニ、課稅ノ標準ト

ナッテ居ルト思ヒマスカラ、承ッテ置キタイ

ト思ヒマス

○賀屋國務大臣 大體ニ於キマシテ都市ガ

非常ニ宜シイト云フコトハ考ヘラレマスル

ガ、都市ノ中デモ軍需工業ニ關係ヲ致シマ

シタ方面以外ニ、輸出工業或ハ輸出業ノ一

部ニハ、却テ普通ノ場合ヨリハ惡イモノガ

ルト云フ譯ニハ參リマセヌノデ、此稅ヲ此位

ハ此程度デ打切りタイト思ヒマス、次ニ御

ノ増加ニスルコトハ、產業上ノ害トシテモ非常ニ大キナモノハナカラウ、生活ノ壓迫モソレ程重大デハナカラウ、斯ウ云フ見地カラ致シマスノデ、豫メ農村ニ此稅ガ幾ラ掛リ、市ニ幾ラ掛ルト云フコトヲ豫定シマシテ、決定ヲ致シタ譯デハ無論アリマセヌ、尙ホ今ノ御質問ノ御参考ニナリマスヤウナ數字ヲ、追テ申上ゲルコトニ致シマス。

○前田委員 無論私モ稅率ヲ決メラレル場合ニハ、全體ノモノヲ見ルヨリモ個々ノモノヲ見テ、稅率ヲ決メラレル、サウ云フコトハ承知ヲ致シテ居リマスケレドモ、併シソレヲ綜合シテ見ラレルト、大體都市ガ幾ラ、農村ガ幾ラト云フコトハ、自然出テ來ルノデハナイカト思ヒマス、ソレカラ支那事變ノ爲ニ地方團體ノ財政上ニ、相當ノ影響ヲ及ボシテ居ルコトハ事實ダト思ヒマス、ソコデ個別的に御伺致シマスガ、支那事變ニ從軍シタル軍人軍屬ニ對シ、第三種所得稅、營業收益稅及ビ地租ニ付テ租稅ノ輕減免除ヲ爲シ、又ハ其徵收ノ猶豫ヲ爲スコトヲ得、斯ウ云フコトニナッテ居リマスカ、是ガ爲ハ地方ダケデ結構デアリマスカラ、是メ幾ラ程輕減サレテ居リマスカ、先ヅソレヲ御伺致シマス。

○大矢政府委員 地方ノ稅ニ付キマシテハ、ノ缺陷ヲ生ズル譯デアリマス、ソレカラ尙

内務省ノ方カラ御答願ヒタイト思ヒマス。○前田委員 ソレデハアトデ内務省ノ政府委員ニ出席ヲ願ヒタイト思ヒマス、内務省關係ノコトハアトデ御伺致スコト致シマシテ、私ガ大藏省關係デ御尋スルノハ、支那事變特別稅ノ實施、其他稅法ノ改正ノ結果、地方稅ガ相當減ルト思ヒマス、是ヘ先程大臣ガ一寸仰シヤツタト思ヒマスガ、ソレヲ明確ニ伺ヒタイト思ヒマス、稅法ノ改正ノ結果、地方稅ガ大分輕減サレルト思ヒマスガ、幾ラ程減リマスカ。

○賀屋國務大臣 是ハ提案ノ理由ノ説明ノ際ニモ申上ゲタト思ヒマスガ、所得稅ノ免

稅點ヲ引下ダマシタ場合、從來ノ如ク特別

所得稅ヲ課シテ居リマシタ地方團體ニ、其

相當地方稅ガ減ルト思ヒマスガ、ソレヲ道府縣市町村別ニ一ツ御知ラセ願ヒタイト思ヒマス

○前田委員 賃貸價格改訂ニ伴ヒマン

日ヨリ土地賃貸價格ノ改訂ニ依リマシテ、

國庫ヨリ講ズル、斯ウ云フ考デ居リマス

○前田委員 ソレカラ其外ニ本年ノ一月一

方ノ收入ニ對シマシテハ適宜補填ノ方法ヲ

講ヲ以チマシテ、營業收益稅ノ附加稅ト均

衡ヲ得ルヤウニシテ、十三年度ノ豫算ヲ編

成スルヤウニ致シテ居リマス

○前田委員 サウ致シマスト營業收益稅ノ

附加稅ト均衡ヲ取ルヤウニ、地租附加稅ヲ

取計ヘト云フコトニナリマスト、結局地租附加稅ヲ引上ゲルコトニシテ補填セヨ、斯

ウ解釋シテ宜イノデアリマスカ、之ヲ伺ッテ

○大矢政府委員 此度ノ賃貸價格ノ改訂ニ依リマシテ、地方ニ依リマシテハ地租ノ本

稅が殖エル所モアリマス、又減ズル所モア

ルノデアリマス、ソレ等總テヲ通ジマシテ、

營業收益稅ノ附加稅ト均衡ヲ得ルヤウニト

云フ趣旨ノ通牒ヲ出シテ居ルノデアリマス、

是ヘ從來モ其方針デヤツテ來テ居ルノデア

リマス、必シモ引上ゲナケレバナラヌトカ、

或ハ引下ダケレバナラヌト云フ譯デヘア

リマセヌ

○前田委員 私ノ申上ゲタノハ營業收益稅

財政ト云フモノハ苦シクナッテ居ルコトハ、

事實デアラウト存ジマス、ソコデ此地方財

政ノ收入減ノ補填ノ爲ニ、地方長官ニ對シテ其の缺陥シタ分ニ對シテ、增稅又ヘ地租附加稅ヲ引上ゲテ、補填セヨト云フヤウナ内訓ヲ出サレタヤウナコトガアルノデアリマスカ、ソレヲ一應伺ヒタイト思ヒマス

ホ觀覽稅等ノ場合ニ於キマシテモ、地方ニ於キマシテ現在ノ如ク賦課致シマスコトハ、

テ其の缺陥シタ分ニ對シテ、增稅又ヘ地租附加稅ヲ引上ゲテ、補填セヨト云フヤウナ内

訓ヲ出サレタヤウナコトガアルノデアリマスカ、ソレヲ一應伺ヒタイト思ヒマス

ハ、相當殖エル見込ガアルカラ、ソレト均  
衡ヲ保ツト云フコトニナルト、地租附加稅  
ヲ引上ゲル必要ガアルノデハナイカト云フ  
來營業收益稅ト地租ト同ジヤウナ取扱ヲサ  
レルト云フコトハ、ドウモ根本觀念ガ間違ツ  
テ居ルノデハナイカト思ヒマス、御承知ノ  
通リ營業收益稅ハ年々ノ實績ニ依ッテヤッテ  
居ル、地租ト云フモノハ十年間ニ一回賃貸  
價格ノ改訂ヲヤル、サウ致シマスト地租ト  
云フモノハ、都會ハ別ト致シマシテ、農村  
方面ノ地價ト云フモノハ年々下ッテ行ク、年  
ニ下ッテ行クニ拘ラズ、十年ニ一回シカ改訂  
ヲナサラヌト云フコトニナリマスト、大體  
ニ於テ後ノ五年間ト云フモノハ、非常ニ不  
當ナル地租ヲ農村ハ拂ツテ居ル、斯ウ云フ結  
論ニナルノデアリマス、隨テ年々ノ實績ニ  
依ッテヤツテ居ル營業收益稅ト、十年間ハ下ッ  
テモ改訂ハヤラナイト云フ地租ト、同ジヤ  
ウニ取扱フト云フコトハ、稅ノ根本觀念カ  
ヲ間違ツテ居ルノデヤナイカト思ヒマスガ、  
其邊ヲモウ一過伺ヒタイト思ヒマス  
○大矢政府委員 其點ハ地租ノ課稅率ト、  
營業收益稅ノ課稅標準ヲ如何ニスルカト云  
フ本質ノ問題デアルト思ヒマスガ、是ハ獨  
リ地方附加稅バカリデハナク、國稅ニ付テ

シマシテハ地租ニ付キマシテモ、毎年ノ収益ヲ調査致シマシテ賦課スルノガ本當デアリマスルガ、併シ是ハ全國ノ多數ニ瓦ルモノヲ、毎年々々調査ヲ繰返スト云フコトハ至難ノコトデアリマス、是ハ獨リ我國バカリデナク、世界各國ノ狀況ヲ見マシテモ、或ル基準年ヲ置キマシテ其際ニ調査シ、其後オルモノハ五年トカ十年トカ据置クト云フコトニナッテ居リマシテ、是ハ不動産課稅トシテハ已ムヲ得ナイ次第カト存ジマス、今御話ノ地租ノ課稅標準ヲ、其儘据置クガ爲ニ、農產物ノ價格ガ非常ニ下落シタ場合ニハ、地租ノ納稅者ハ非常ニ困ルデヤナイカト云フノハ、全ク御説ノ通リデアリマシテ、昭和六年地租法ガ實施ノ場合ニ基準ニ取リマシタ賃貸價格ノ調査ハ、大正十四年前五箇年ノ實績ニ依ツテ、調査決定致シタノデゴザイマス、隨テ昭和六年七年ノ頃ハ、農產物價ノ下落ニ依リマシテ、實情ニ副ハナイ課稅ガ行ハレテ來タノデアリマス、此度ノ賃貸價格ノ改訂ハ、昭和十年前五箇年ノ實績ニ依ツテ計算シテ決定致シタノデアリマス、丁度其前ニ行ハレタ調査ト逆ノ結果ヲ來シマシテ、現在ハ米價ガ三十圓以上モシテ居ルノニ、其賃貸價格ノ改訂ニ用

程度デアリマシテ、相當ノ開キガアリマス、  
若シモ今後米價ガ此狀態ヲ持続シテ行キマ  
スレバ、地方ノ土地所有者ニ取リマシテハ、  
昭和六年七年ノ頃トヘ反対ノ現象デ、負擔  
ノ緩和ニモナルコトト存シテ居リマス。  
○前田委員 其邊ハ私共ト少シ見込ガ違フ  
ノデアリマスガ、何時カ大藏大臣ハ土地賃  
貸價格ノ改訂ニ依ッテ、農村方面ノ地租ハ相  
當減ルノデアルカラ、大體ソレデ我慢シタ  
ラドウカト云フ意味ノ御話ガアッタノデア  
リマスガ、現在ハ減ツテ居リマスケレドモ、  
併シ過去五年ナラ五年ト云フモノハ、非常  
ニ重壓ヲ加ヘラレテ居ル、減ルベキモノガ  
減ツテ居ナイ、ソレヲ以テ賃貸價格ノ改訂ニ  
依ツテ、農村ノ方ハ地租ガ下ルノダカラ宜イ  
ヂヤナイカト云フヤウナ御議論ハ、過去五  
年間如何ニ農村方面ガ不公平ナル賃貸價格  
ノ爲ニ、重壓ニ苦シングダカト云フコトヲ  
御忘レニナツテ居ル議論ヂヤナイカ、ト思フ  
ノデス、其點ヲ一ツ能ク御考慮ヲ願ツテ、此  
事變ニ依ツテ地方財政ガ相當缺陷ガ生ジテ  
居リマス以上、此際増稅トカ、或ハ地租ノ  
附加稅ト云フモノヲ引上ゲルコトナシニ、  
ドウシテモ交付金ヲ出シテ、之ヲ補給スペ  
キ性質ノモノデアラウト思フノデアリマス、

○賀屋國務大臣　只今ノ御説モ相當御尤ノ所モアルト思ヒマス、併ナガラ前ニ申上ガマシタヤウニ、現在ノ米價其他カラ申シマスレバ、非常ニ格安ノ標準ニナツテ居ルノデアリマス、併シ前ノ御話ノヤウニ、下ルベキ所ガ下ラヌヤウナ事情モアリマスノデ、其邊ノ事情モ決メナケレバナラヌト思ヒマス、サウ云フ事情モアリマスノデ、本稅ヲ減スコトガ只今ノ場合トシテハ、減サナクテモ宜イ場合ニ減シタト云フ實情モアリマスノデ、彼此レ考ヘマシテ、多少賦課率ノ増加ガアリマシテモ、實際ノ附加稅ハ增徵ニナラナイ場合ニ於テモ相當ノ御辛抱ヲ、此際デアリマスカラ御願致シタイ、斯ウ思ッテ居ルノデアリマス、併シ各方面ノ御要望モアリマスノデ、折角其事ニ付キマシテハ只今研究中デアリマス、何レ腹案ガ纏リマシタナラバ、申上ゲタイト思ツテ居リマス○前田委員　此地方財政收入減ノ補填ノ問題、延イテ地方財政補給金増加ノ問題ハ、既ニ吾々ノ方カラ内交渉致シテ居ルノデアリマシテ、大體今マデ大藏大臣ノ述ベラレタル如ク、其趣旨ハ是認セラレテ居ルト思ヒマスガ、問題ハ寧ロ其金額デアラウト思ヒマス、私共今申上ゲタ如ク、大藏省ノ

關係ダケデモ三千万圓大體減ヅテ居ル、其上ニ内務省關係ニ於テ若干減ヅテ來ル、殊ニ戸數割ノ如キハ、一日モ早く此稅ヲ廢止シナケレバナラヌ、然ルニ地方財政補給金ガ一億圓デアルガ爲ニ、今マダ半分モ減ヅテ居ラナイ、相當マダ減スノニハ金ガ要ルヤウデアリマスルガ、彼此レスウ云フコトヲ綜合觀察致シマスルト、吾々ガ非公式ニ御交渉申上ゲテ居リマスル五千萬圓ト云フモノハ、是ハ最小ノ限度デアルト思フ、有體ニ貰ハナケレバ、地方ノ財政ハ助カラヌノデヤナイカ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマスケレドモ、ヤハリ財政ノ事情ヲ能ク考慮シナケレバナラヌ、斯ウ云フコトカラ、私共ノ方ニ於テモ種々ナル事情ヲ綜合考察ヲ致シテ、最小限度五千萬圓ヲ要求致シテ居ルノデアリマス、此點ハ今私ハ御答合セラレテ、地方財政ヲ緩知スルガ爲ニ、是非最小限度五千萬圓ノ補給金ヲ増加シテ戴キタイト云フコトヲ、茲ニ要望致シテ置トハ考ヘマセヌガ、是非一ツ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス

次ニ商工大臣モ見エタヤウデアリマスガ、物品ト物價問題ニ付テ、御尋ヲ申上ゲタイト思ヒマス、先づ今回物品稅ト云フモノガ出来タノデアリマスガ、物品稅ト云フモノハ、一體稅ノ上デドウ云フ性質ヲ持ッテ居ルモノデアリマスルカ、大體ニ於テ消費稅ノヤウニモ見エルガ、又サウ見エナイ所モアル、一體ドウ云フ性質ノモノデアリマスカ、ソレヲ御説明願ヒタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 物品稅ハ消費稅デモアリマスシ、徵收ノ方法カラ言ヘバ御話ノ如ク間接稅デアリマス、奢侈稅的ノ性質ヲ持ッテ居ル、ツマリ普通ノ消費稅デアリマスト、ソレハ奢侈稅的ノ性質ヲ持タナインガ酒デアリマストカ、煙草デアリマストカ、或ハ砂糖マストカ、併シ此物品稅ノ審議ヲ致シマスノニモ持チ得ナイ兩道ニ掛ル譯デアリマス、今度アリマストカデ、奢侈稅的ノ性質ヲ必シモ持チ得ナイ兩道ニ掛ル譯デアリマス、今ニ實用ヲ考ヘマス場合ニ於テハ、忍ビ得ル程度ノモノニハ掛ケマセヌデ、ソレ以上ノモノニ掛ケルト云フ趣旨デアリマス、先づニ御出シラ願ヒタイト思ヒマス、是ガナイト、物品稅ノ内容ノ審議ガ出來ナイト思ヒマス、併シ私ハ是レ以上御答辯ヲ願ヘウノモノニモ、掛シテ居ルカモ知レマセヌガ

性質ガアルト、斯ウ申シテ宜カラウト思ヒマス

○前田委員 無論奢侈稅的ノ性質デアルト思ヒマスケレドモ、其物品稅ノ内容ヲ見テ見ニモ見エルガ、又サウ見エナイ所モアル、モアル、ドウモヘッキリドンナ稅ニナルノカ、ビント私共捕捉シ兼ネルコトモアルノデアリマスケレドモ、併シ稅ノ性質ヲ今茲ニ持テ見テモ、仕方ガナイノデアリマスガ、要スルニ稅ノ性質ガハッキリシナデ彼此レ討議シテ見テモ、仕方ガナイノデアリマスガ、要スルニ稅ノ性質ガハッキリシナイガ爲ニ、此稅ニ相當惡作用モ伴ウテ來ルノデハナイカ、斯ウ云フコトモ實ハ心配サレルノデアリマス、隨テ此物品稅ニ付キマシテハ、何レ又他ノ同志ノ諸君カラ、内容ニ付テ一々質問ガアラウト思ヒマスカラ、私シテハナノ内容ニ付テノ質問ハ此際致シマセヌガ、併シ此物品稅ノ審議ヲ致シマスノニヤウデアリマスガ、先刻モドナタカラカ御請求ガアッタヤウデアリマスガ、是ハ一ツ速ト、物品稅ノ内容ノ審議ガ出來ナイト思ヒマス、ソコデ問題ハ、此物品稅ト物價ノ問題ニ相成ルノデアリマスルガ、物價ハ御承知ノ如ク漸騰ノ傾向ヲ辿ッテ居ル、昨年ノ立場ナラバ奢侈ト云フコトハ言ヘナイ程度

カラ、段々物價ガ低落ノ歩調ヲ辿ッテ居ルニ拘ラズ、日本ノ物價ハ逆ニ、段々漸騰ノ歩調ヲ辿ッテ居ル、而モ昨年ノ十一月カラハ卸賣、小賣共ニ物價ガ激騰ノ傾向ヲ示シテ來モナク國民生活ヲ脅威致スノミナラズ、原料品、製產品ノ値モ上リマシテ、輸出貿易ノ上ニ多大ノ支障ヲ來シ、國際收支ノ適合ニ於テモ非常ニ惡イ影響ヲ及ボスノデアリマスカラ、此際ハドウシテモ官民協力シテ、アリマスガ、要スルニ稅ノ性質ガハッキリシナス、斯様ナ際ニ物品稅ト云フモノガ今回課セラレルコトニナツタ、此物品稅ノ性質カラ申シマシテ、一割乃至一割五分課セラレルノデアリマスケレドモ、併ナガラ恐ラク私ハ此課セラレタ物品ハ、一割トカ一割五分ノ騰貴デ止マラヌト思ヒマス、色々ノ作用ヲ起シテソレ以上ニ騰ル、此四十七種ノ種目ヲ更ニ細別スレバ、三百以上ニモ達スルノデアラウト思ヒマスガ、是等ノ物ガ相當ノ騰貴ニ止ラズシテ、物價ハ御承知ノ如ク關聯ガアルノデアリマスカラ、恐クヘ一般物價ニモ相當ナ影響ガアルノデハナイカト私ハ思ヒマス、大藏大臣ハ物品稅ハ是ダケニ課ケテ、外ニハ課ケヌノダカラ、外

ニハ大シタ影響ハアルマイ、豫算關係ニモ  
大シテ影響ハアルマイト、斯ウ云フヤウナ意味ノ御話ガアツタヤウニ思ヒマスケレドモ、  
ソレハ餘程私ハ御考ヲ願ヘナケレバナラヌ  
問題デハナイカト思ヒマス、物價ト云フモノ  
ハ説明スル迄モナク、關聯性ガアル、或ル  
方面ノ物價ガ上リマスト、他ノ物價マデ  
ガ一波萬波ヲ生ズト言ヒマスカ、段々ト關  
聯性ノ爲ニ上ツテ來ル、是ガ私ハ物價ノ作用  
デアラウト思ヒマスカラ、相當私ハ此物品  
稅ニ刺戟サレテ、一般物價モ騰貴スルモノ  
マス、先ツ其點ニ付テ御所見ヲ伺ッテ置キマ  
ス。

○賀屋國務大臣 今回ノ物品稅ハ、酒等ハ

別デアリマスルガ、多クハ製品ニ課シマス  
ルモノデアリマス、原料的ノモノデハナイ  
ノデアリマス、合理的ニ申セバ、其課ケマ  
シタ製品ガ稅額ダケ騰貴致スト云フコトハ、  
他ノ理由ガナケレバ是ハ正當デアラウト思  
ヒマス、併ナガラ從來斯ル場合ニ、率直ニ  
申セバ、稅ガ或ルニ課ヅタ云フ場合ニ、  
稅ノ課リマセヌ他ノ物ノ物價ヲ引上ゲル、  
或ハ稅ガ課リマシタ割合以上ニ、之ヲ引上  
ゲルト云フ弊害ガ必シモナカッタトハ言ヘ

ニハ大シタ影響ハアルマイ、豫算關係ニモ  
大シテ影響ハアルマイト、斯ウ云フヤウナ意味ノ御話ガアツタヤウニ思ヒマスケレドモ、  
ソレハ餘程私ハ御考ヲ願ヘナケレバナラヌ  
問題デハナイカト思ヒマス、物價ト云フモノ  
ハ説明スル迄モナク、關聯性ガアル、或ル  
方面ノ物價ガ上リマスト、他ノ物價マデ  
ガ一波萬波ヲ生ズト言ヒマスカ、段々ト關  
聯性ノ爲ニ上ツテ來ル、是ガ私ハ物價ノ作用  
デアラウト思ヒマスカラ、相當私ハ此物品  
稅ニ刺戟サレテ、一般物價モ騰貴スルモノ  
マス、先ツ其點ニ付テ御所見ヲ伺ッテ置キマ  
ス。

○賀屋國務大臣 今回ノ物品稅ハ、酒等ハ

別デアリマスルガ、多クハ製品ニ課シマス  
ルモノデアリマス、原料的ノモノデハナイ  
ノデアリマス、合理的ニ申セバ、其課ケマ  
シタ製品ガ稅額ダケ騰貴致スト云フコトハ、  
他ノ理由ガナケレバ是ハ正當デアラウト思  
ヒマス、併ナガラ從來斯ル場合ニ、率直ニ  
申セバ、稅ガ或ルニ課ヅタ云フ場合ニ、  
稅ノ課リマセヌ他ノ物ノ物價ヲ引上ゲル、  
或ハ稅ガ課リマシタ割合以上ニ、之ヲ引上  
ゲルト云フ弊害ガ必シモナカッタトハ言ヘ

ナイデアラウト存ジマス、今回ハ此點ニ付キ  
協賛ヲ得マシタナラバ、此課稅ノ實體ヲ明  
ニシ、消費者ニモ販賣者ニモ之ヲ明ニ致シ  
マシテ、此際ニ國民ガ銃後ノ御奉公トシ  
テ、増稅ニ應ジマスルニ附ケ込ンデ、ソレ  
底セシメマシテ、販賣業者ニモ購買スル者  
ニモ、共ニ明ニスルヤウニ致シマシテ、其  
弊害ヲ出來ルダケ防ギタイ、之ニ特ニ努メ  
タイト思ツテ居リマス、尙ホ併シナガラ總テ  
斯ウ云フモノニハ關聯性ガアリマスノデ、  
今申上ゲマスルヤウニ、比較的ソレノ少イ  
方面ヲ選ンダノデアリマスガ、尙ホ此コト  
ヲ別ト致シマシテモ、只今ノ貿易ノ統制ノ  
結果、不足ヲ生ジ易イ物資ガ多々出來ルノ  
デアリマス、此物價對策ハ極メテ重要デア  
リ、今後ノ經濟對策ノ中ノ、最モ重要ナル  
モノノ一つデアルト考ヘマス、主管省タル  
商工省ニモ十分私共モ協力致シマシテ、殊  
ニ合理的ナ消費ノ節約、貯蓄ノ獎勵等ニ  
モ、又國際收支ノ適合ノ上ニ於テモ、非常  
ニ憂フベキ現象ヲ起スノデアルカラ、官民  
協力一致致シマシテ、物價對策ヲ樹テルノ  
必要アルコトヘ、申ス迄モナインデアリマス、  
幸ニシテ今日マデハ、政府ノ御方針モ宜カッ  
ガ、マダ内容ヲ承ラヌノデアリマスカラ、  
針ヨリモ、國民ガ眞ニ時局ヲ認識シテ、政

コトハ斷定出來マセヌガ、新聞デ承知致シ  
マスト、物品稅ノ免稅點ガ、ドウモ餘リ低  
マシテ、此際ニ國民ガ銃後ノ御奉公トシ  
テ、増稅ニ應ジマスルニ附ケ込ンデ、ソレ  
底セシメマシテ、販賣業者ニモ購買スル者  
ニモ、共ニ明ニスルヤウニ致シマシテ、其  
弊害ヲ出來ルダケ防ギタイ、之ニ特ニ努メ  
タイト思ツテ居リマス、尙ホ併シナガラ總テ  
斯ウ云フモノニハ關聯性ガアリマスノデ、  
今申上ゲマスルヤウニ、比較的ソレノ少イ  
方面ヲ選ンダノデアリマスガ、尙ホ此コト  
ヲ別ト致シマシテモ、只今ノ貿易ノ統制ノ  
結果、不足ヲ生ジ易イ物資ガ多々出來ルノ  
デアリマス、此物價對策ハ極メテ重要デア  
リ、今後ノ經濟對策ノ中ノ、最モ重要ナル  
モノノ一つデアルト考ヘマス、主管省タル  
商工省ニモ十分私共モ協力致シマシテ、殊  
ニ合理的ナ消費ノ節約、貯蓄ノ獎勵等ニ  
モ、又國際收支ノ適合ノ上ニ於テモ、非常  
ニ憂フベキ現象ヲ起スノデアルカラ、官民  
協力一致致シマシテ、物價對策ヲ樹テルノ  
必要アルコトヘ、申ス迄モナインデアリマス、  
幸ニシテ今日マデハ、政府ノ御方針モ宜カッ  
ガ、マダ内容ヲ承ラヌノデアリマスカラ、  
針ヨリモ、國民ガ眞ニ時局ヲ認識シテ、政

府ノ方針ニ協力シタト、斯ウ云フ結果ガ物  
價ノ上ニ現レテ、大ナル惡性「インフレーショ  
ン」ガ起ラズニ濟シテ居ルノデハナイカ  
ト思ヒマス、先般大藏大臣ハ議會ニ於キマ  
シテ、物價ト云フモノハ物ト金トノ調節ガ  
適當ニ行ハレテ、爲替相場ノ安定ニ依ツテ、  
通貨ノ信用ガ維持サレル限リ懸念ガナイ、  
斯様ニ仰セラレテ居ツタノデアリマス、私ハ  
理論ノ上カラ申セバ、其通りデアラウト思  
ヒマス、併ナガラ今日本ノ物價騰貴ノ趨勢  
ヲ見マスト、兌換券ノ發行ガ增加致シタ率  
ヨリモ、生產力ノ增シタ率ノ方ガ急騰致シ  
テ居ル、更ニ生產力ノ增加ノ率ヨリモ、物  
價騰貴ノ方ガ、モウ一つ急ニ騰ツテ居ルノデ  
アリマス、斯様ナ今日マデノ傾向カラ考ヘ  
マスト、今日ノ物價騰貴ト云フモノヘ、通  
貨ノ數量ガ殖エタト云フコト自體ヨリモ、  
寧ロ生産力ガ不足デアツテ、物資ノ需給ガ  
旨ク行ツテ居ラヌ、所謂輸入ノ制限ヲ強化  
サレ、軍需資材ノミニ集中サレタ、斯ウ云  
フ理由カラ物資ノ需給ガ調節ヲ得テ居ナイ  
コトガ、物價騰貴ノ最大原因ヲ成シテ居  
モト思ヒマス、隨テ今後公債ガ段々増發  
ヲサレテ、物ガ段々出來ルノデアリマセウ  
ガ、今日ノ生產設備、其他資金ノ關係等カ  
ラ考ヘマスト、今後ヘ物ト金トノ調節ガ適

當ニ行ヘルト云フコトハ、實際問題トシテハ非常ニ難シイ場面ニ到達スルノデハナイカ言換ヘマスナラバ、通貨ノ數量ニ比シテ物資ガ足ラナクナッテ來ル、隨テ此儘デ行キマスナラバ、相當惡性ノ「インフレーション」ガ起ル懸念モ私ハセザルヲ得ナイト思ヒマス、隨テ今後ノ物價對策ニ付キマシテハ、積極的ニ而モ具體的ニ政府ガ方針ヲ樹テナケレバナラヌ、無論今日マデ非常ニ苦心ヲサレテ居ル、殊ニ商工大臣ノ如キハ、餘程其方面ニ付テ精通ナサッテ居ルノデアリマシテ、有ユル手段、有ユル機關ヲ通ジテ物價ノ抑制ニ努力サレテ居ル、其御苦心ハ諒ト致シマスケレドモ、今後ハ今日マデノヤウナヤリ方デハ、物價ノ騰貴ヲ阻止スルコトガ出來ナイト思フ、例ヘバ暴利取締令ニ致シテモ、昨日ドナタカ仰シヤッタヤウダガ、單ニ傳家ノ寶刀トシテ是ハ拔カナイト云フコトデハイケナイ、寧ロ今後ハ此暴利取締令ノ内容ヲモット擴充致シテ、ソレヲ實際ニ速ニ活用スル必要ガアルノデハナイカ、斯ウ云フコトモ考ヘラレルノデアリマス、私モ實ハ相當ノ考ヘ方ヲ持ツテ居リマスガ、此際ハ寧ロ商工大臣カラ、進ンデ今後ノ物價對策ニ對シマスル、具體的ナ方針ヲ承ルコトガ出來レバ仕合セダト存ジマス

○吉野國務大臣 淳ニ御尤ナ御尋デゴザイマス、私モ此物價ノ問題ハ、中々容易デナイ問題ダト思ヒマシテ、日夜此問題ニ對シテ注意ヲ拂ツテ居ル譯デアリマス、申ス迄スル譯デアリマスカラ、色々ナ問題ハ別ト致シマシテモ、唯ソレダケデモ國內ニハ相應ノ關係カラ自然物ガ上ル勢ニアル、此方面ノ關係カラ購買力ガ高マル譯デアリマシテ、其方ノコトハ財政當局ニ於キマシテモ、或ハ貯蓄ヲ獎勵致シマスルナリ、或ハ小額ノ公債ヲ募集致シマスルナリ、色々其方面デ所謂惡性「インフレ」ヲ出來ルダケ防グ方針ヲ執ツテ戴ク、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、而シテ私ノ方ノ關係ノ問題ニナリマスト、サウ云フ全般的ノ問題以外ニ、御承知ノ通りシテ私ノ方ノ輸入ヲ止メテ居ル譯デアリマス、實ハ吾々モ不要、不急品ノ輸入制限、禁止ト云フコトヲ言ウテ居リマスケレドモ、商工省ノ行政カラ言ヘバ、實ハ不要、不急品ト云フモノハナイ筈デアリマス、皆必要ガアツテ是ハ入レテ居ッタ譯デアリマス、唯其場合ニ國防、軍事ト云フモノノ角度カラ、斯ウ云フコトモ考ヘラレルノデアリマス、ソレガ詰リ物價全般ノ水準ヲ高メル作用ヲシテ居ルコトヘ、御承知ノ通リデアリマス、サウ云フ場合ニ暴利取締ノ點モ實ハマス、サウ云フコトデ分類致シテ居ル譯デアリマス、ソレデアリマスカラ、實際ハ國民ハ決シテ徹底シタヤリ方トヘ考ヘテ居リ

經濟カラ言ヘバ必要デナイ物ハ一ツモナイノデス、ソレヲ必要ナ物ノ輸入ヲ制限スルト云フコトデゴザイマスカラ、ドウシテモスル譯デアリマス、詰リ今マデハ高ク賣ッタ場所ニ需要供給ガ合ハズニ、其物ガ高クナルト云フ關係ニナルコトハ已ムヲ得ナイ、ソコヘ持ツテ來テ、又サウ云フ外國カラ輸入品デナイ物デアリマシテモ、從來ト違ヒマシテ、斯ウ云フヤウナ事變ノ關係カラ致シマシテ、戰時經濟ニ入りマシテカラ、民事ニ比較致シマシテ軍事ノ方ノ需要ガ非常ニ多い、サウ云フ關係カラ需給ノ「バランス」ガ破レルト云フ物モザイマス、ソレデゴザイマスカラ、先ツ其物價ノ問題ヲ扱ヒマスル時ニハ、ドウシテモ吾々ガ今輸入ヲ抑制シタリ、或ハ禁止シタリ、或ハ軍事ノ需要ノ爲ニ、民事ノ方へ廻ラナイト云フヤウナ物ガ目立ツテ暴騰シテ居リマス、サウ云フ物ガ又不幸ナコトニハ、國民ノ生活ト非常ニ縁ノ深イ物ガ多々アルノデゴザイマスカラ、ソレガ詰リ物價全般ノ水準ヲ高メル作用ヲシテ居ルコトヘ、御承知ノ通リデアリマス、サウ云フ場合ニ暴利取締ノ點モ實ハマス、サウ云フコトモ考ヘラレルノデアリマスガ、兎モ角暴利ノ考ヘテ居ルノデアリマスガ、兎モ角暴利ノラ見マシテ縁遠イ物ヲ、假ニ不要、不急品考ヘテ居ルノデアリマスカラ、商工大臣申シマスト、幾ラノ値段デ幾ラ賣ッタ云フコトノデアリマスカラ、隨テ是ガ吾々ノ方ニ届出シムルマスト、幾ラノ値段デ幾ラ賣ッタ云フコトガ分リマスカラ、其値段ガ非常ニ法外ニ高イ場合ニハ、暴利トシテ臨ムコトモ出來マス、又アノ暴利取締令ハ省令デゴザイマシテ、罰則ガ非常ニ低イノデアリマシテ、罰則ガ

居リマス、而モ大正年代ノアノ暴利取締ノ省令ヲ昨年改正スルニ當リマシテハ、其當時ノ實驗ニ鑑ミマシテ、届出ノ條項ヲ加ヘタノデアリマス、詰リ今マデハ高ク賣ッタ場合ニ罰スルダケデアツタノデアリマス、其當時ノ私ハ農商務省ノ屬僚デ居リマシタカラ、多少其當時ノコトモ知ツテ居リマスケレドモ、何セ罰金デアリマスカラ、商人ノ間ニハ罰金ヲ出シテモ宜シト云フ人ガ中々アツタノデアリマス、ソレデアノ暴利取締令ヲ振廻セバ振廻ス程、却テ逆ニ物ガ上ッタ云フヤウナ珍現象ヲ來シタコトヘ、是モ御承知ノコトト思ヒマス、ソレデアリマスカラ、ドウシテモア、云フ罰則ノ法規ダケラ以テ經濟ノコトニ臨ムト云フコトニハ、自ラ限度ガゴザイマシテ、中々十分デナイト考ヘタモノデアリマスカラ、今度ハ其外ニ届出ノ條項ヲ加ヘマシテ、或ル品目ヲ列擧シテ、ノデアリマス、隨テ是ガ吾々ノ方カラ申シマスト、幾ラノ値段デ幾ラ賣ッタ云フコトノデアリマスカラ、其品目ヲ販賣スル者ガ、販賣シタ場合ノ數量ト値段ヲ、一々官廳ノ方ニ届出シムルノデアリマス、隨テ是ガ吾々ノ方カラ申シマスト、幾ラノ値段デ幾ラ賣ッタ云フコトガ分リマスカラ、其値段ガ非常ニ法外ニ高イ場合ニハ、暴利トシテ臨ムコトモ出來マス、又アノ暴利取締令ハ省令デゴザイマシテ、罰則ガ非常ニ低イノデアリマシテ、罰則ガ

金ト自分ノ損得ヲ算盤ニ掛ケテ、此程度ナラバ罰金ヲ出シタ方ガ得ダト云フヤウナ考ノ人ニ對シテハ、アノ省令ハ或ル意味カラ言ヘバ無力デアリマス、併シ立法者ノ頭トシテハ、サウ云フコトヲ豫想シテ居リマセヌノデ、兎ニ角經濟人ハ法規ヲ皆遵守スルダラウト云フ考デヤッテ居リマスケレドモ、若シサウ云フヤウニ行キマセヌ場合ニハ、臨時措置法ノ規定ニ依ツテ處分ヲ致ス積リデアリマス、サウ致シマスト、今度ハ罰則ノ點ニ於テ、御承知ノ通リ體刑ヲ課シ得ルコトニナリマスカラ、サウ云フヤウニ今後ノ事態ノ推移ニ依ツテ、暴利取締ノ方モ強化シナケレバナラヌ、丁度御説ノ通リノ考ヲ持ツテ居ルノデアリマスケレドモ、唯今日マデ發動ヲシナイデ、チット見テ居リマスル所以ノモノハ、先程申シマシタ通リニ、生ジッカ之ニ手ヲ出シマスト、是ハ甚ダ言葉ガ惡イカモ存ジマセヌケレドモ、其裏其裏ト商賣ヲ上ゲルト云フヤウナ、過去ニ於テ——大正年間ノアノ歐羅巴戰爭中ニ於ケル、苦イ經驗ヲ持ツテ居ルモノデゴザイマスカラ、是ハヤラヌノデハゴザイマセヌ、ドウシテモ

サウ云フコトヲヤラナケレバナラヌカト存ジテ居ルノデゴザイマス、併シ何分ニモ特殊ノ物デ、需要供給ガ合ハナイ物ニ付キマシテハ、ドウシテモ供給ト需要ヲ合セルノガ一番肝腎デゴザイマスカラ、ソコデ消費ノ規正ト云フコトヲ考ヘテ、需要ト供給ヲ成ベク合セヨウ、重要ナ原料品等ニ付テハ、今マデ通リフンダンニハ使ヘナイカモ知ラスケレドモ、ヤハリ國策ノ見地カラ全體ノ數量ヲ制限シタナラバ、其制限シタ物デ原ヤツテ居ル譯デアリマス、此觀念ハ詰リ必要ナ方面ニ必要ナ物ヲ配給スルノデアリマシテ、言葉ヲ換ヘテ申シマスト、自由市場ニ於キマシテハ、ドンナニ金ヲ積ンデモ其物ガ手ニ入ラナインデアル、例ヘバ原料ノ護謄ナラ護謄、護謄ヲ使フ者ト申セバ、「タイヤ」ヲ作ル者トカ、電線業者トカ、サウ云フ大キイ業者カラ、玩具ヲ作ルヤウナ業者マデアルノデアリマス、ソレ等ノ凡百ノ護謄ノ消費者ニ對シテ、「ダイヤ」トカ、或ハ電線トカ云フヤウナモノニハ、輸入シタ所ノ生護謄合ニハ合セデ値段ノ公定ノ問題ヲモ考ヘラレル譯デアリマス、此値段ノ公定ニ付キマシテ、或ハ色々ナ重要ナ物ニ付キマシテ

居ルノデアリマスガ、サウ云フ點ニ付キマシテハ、御話ノ通り今後一層注意ヲシテ、若シサウ云フコトヲヤラナケレバナラヌカト存ジテ居ルノデゴザイマス、併シ何分ニモ特殊ノ物デ、需要供給ガ合ハナイ物ニ付キマシテハ、ドウシテモ供給ト需要ヲ合セルノガ一番肝腎デゴザイマスカラ、ソコデ消費ノ規正ト云フコトヲ考ヘテ、需要ト供給ヲ成ベク合セヨウ、重要ナ原料品等ニ付テハ、今マデ通リフンダンニハ使ヘナイカモ知ラスケレドモ、ヤハリ國策ノ見地カラ全體ノ數量ヲ制限シタナラバ、其制限シタ物デ原ヤツテ居ル譯デアリマス、此觀念ハ詰リ必要ナ方面ニ必要ナ物ヲ配給スルノデアリマシテ、言葉ヲ換ヘテ申シマスト、自由市場ニ於キマシテハ、ドンナニ金ヲ積ンデモ其物ガ手ニ入ラナインデアル、例ヘバ原料ノ護謄ノヤウナ物デゴザイマスト簡單デアリマスケレドモ、綿絲、綿布ノ如キ物、殊ニ綿布ノ如キ物ハ、何百何千ト云フ種類ガアルノデアリマスカラ、サウ云フ物ニ當ツテ、スケレドモ、ヤハリ中々眼ガ届カナイ、御承知ノ底役所デ以テ、所謂机上ノ論デヤルト云フコトハ、却テ實際ニ適シテ居リマセヌノデアリマス、ソコデ實際問題ト致シマシテ

シテ、原料デ割當テルノデアリマス、サウシマスト、最早大體ニ於キマシテ自由ナ市場ニハ金ヲ出シテモ護謄ガ買ヘナイ、サウジテ居ルノデゴザイマス、併シ何分ニモ特殊ノ物デ、需要供給ガ合ハナイ物ニ付キマシテハ、ドウシテモ供給ト需要ヲ合セルノガ一番肝腎デゴザイマスカラ、ソコデ消費ノ規正ト云フコトヲ考ヘテ、需要ト供給ヲ成ベク合セヨウ、重要ナ原料品等ニ付テハ、今マデ通リフンダンニハ使ヘナイカモ知ラスケレドモ、ヤハリ國策ノ見地カラ全體ノ數量ヲ制限シタナラバ、其制限シタ物デ原ヤツテ居ル譯デアリマス、此觀念ハ詰リ必要ナ方面ニ必要ナ物ヲ配給スルノデアリマシテ、言葉ヲ換ヘテ申シマスト、自由市場ニ於キマシテハ、ドンナニ金ヲ積ンデモ其物ガ手ニ入ラナインデアル、例ヘバ原料ノ護謄ナラ護謄、護謄ヲ使フ者ト申セバ、「タイヤ」ヲ作ル者トカ、電線業者トカ、サウ云フ大キイ業者カラ、玩具ヲ作ルヤウナ業者マデアルノデアリマス、ソレ等ノ凡百ノ護謄ノ消費者ニ對シテ、「ダイヤ」トカ、或ハ電線トカ云フヤウナモノニハ、輸入シタ所ノ生護謄合ニハ合セデ値段ノ公定ノ問題ヲモ考ヘラレル譯デアリマス、此値段ノ公定ニ付キマシテ、或ハ色々ナ重要ナ物ニ付キマシテ

ノ最高價格ト云フモノヲ決メサシテ居ル譯デアリマス、是ハ無論商工省ガソレニ對シテ監督ヲ致シテ居リマス、デアリマスカラ是モ潔癖ナ議論ヲ致シマスト、本當ノ意味ノ公定デハナイカモ存ジマセヌ、之ニ違反シタラドウ云フ制裁ガアルカト云フ問題ニナレバ、要スルニ當業者ノ間ノ申合セヲ破ッタリマスカラ、當業者ノ間ノ申合セヲ破ッタ云フ以外ニ、今日マデノ所制裁ハナイノデアリマス、之ニ對シテ若シ體刑其他ノ罰則ヲ適用セントスルナラバ、アノ臨時措置法ニ依ッテ處分ヲシテ、其公定シマシタ物價ヲ、其物ノ公定價格トスルト云フ手續ヲ取ラナケレバナラ、譯デアリマス、サウ云フコトモ或ハ私ハ物ニ依ッテハ必要デハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、考ヘテ居リマスガ、今申シマシタ通りニ、物價ノ公定ト云フコトニ付キマシテモ色々々其方法ナリ、或ハ假ニ決メシタ時ニ、ドウ云フ風ニシテ監視ヲスルカト云フヤウナ問題ナドモゴザイマスノデ、實ハマダ踏切ラヌデ居ル譯デゴザイマス、ソコデ今日ハ兎モ角不足ナル原料輸入ヲ抑壓スル、或ハ非常ニ軍事ノ需要ガ多イ爲ニ不足シテ居ルト云フヤウナ、原料其ノ物ニ付キマシテハ、出來ルダケ代用品ノ使用ヲ獎勵スルトカ、或ハ消費ヲ抑制ス

ルナリシテ、サウシテ需要ト供給ト合セテ成ベク物ガ騰ラナイヤウニスル、物ニ依ルト、自由市場ニ於テハ金ヲ出シテモ物ガ買ヘナイノダト云フヤウナ、強力ナ配給ノ統シタラドウ云フ制裁ガアルカト云フ問題ニナレバ、要スルニ當業者ノ間ノ申合セデアリマスカラ、當業者ノ間ノ申合セヲ破ッタ云フモノヲ、先程申シマシタ通り、必要ガアレバモウ少シ之ヲ強化スル、斯ウ云フヤウナコトヲ考ヘテ居リマスガ、ソレ以上ニ丁度前田サンガ今御話ニナリマシタ通り、唯ソレダケデハ中々是ハ容易デナイト思ヒマスノデ、ソコデドウシテモ官民ガ一致シテ、物價問題ニ關心シテ、何ト申シマスカ——輿論ト申シマスカ、國民全體ガ之ニ非常ナ關心ヲ持ッテ看守ルト云フヤウナ制度ヲ、更ニ附加ヘル必要ガアリハシナイカ、是ヘドウ云フ風ニ致シマスカ、マダ具體的ノ腹案モ出來テ居リマセヌケレドモ、官民一致シタル物價ノ看守ニ付テノ委員會組織ノヤウナモノヲ、名前ハ何ト云フ名前トニ付ケルカ分リマセヌガ、中央或ハ各地方々々ニ置クノデアリマス、サウシテソコニソレハ物價ナラ物價問題デ、色々地方ニハ消費者ノ人達モ十分入ルノデアリマス、スルカト云フヤウナ問題ナドモゴザイマスノデ、實ハマダ踏切ラヌデ居ル譯デゴザイマス、ソコデ今日ハ兎モ角不足ナル原料輸入ヲ抑壓スル、或ハ非常ニ軍事ノ需要ガ多イ爲ニ不足シテ居ルト云フヤウナ、原料其ノ物ニ付キマシテハ、出來ルダケ代用品ノ使用ヲ獎勵スルトカ、或ハ消費ヲ抑制ス

國ノ政策ニ背ク者ハ、暴利取締令ノ省令ニ依ル何十圓、何百圓ノ罰金ト云フモノハ、斯ウ云フコトニ私ハ物價騰貴ノ根本原因ガアルト思フノデアリマスカラシテ、ドウシテモ根本問題トシテハ、物資ヲ出來得ル限制マデ行キタイ、サウシテ一方暴利取締令ト云フモノヲ、先程申シマシタ通り、必要ガアレバモウ少シ之ヲ強化スル、斯ウ云フヤウナコトヲ考ヘテ居ルノデゴザイマス、綠返シテ申上ゲマスルガ、中々御話ノ通リ非常ニ難シイ問題デ、容易デナイト云ニ丁度前田サンガ今御話ニナリマシタ通り、唯ソレダケデハ中々是ハ容易デナイト思ヒマスノデ、ソコデドウシテモ官民ガ一致シテ、物價問題ニ關心シテ、何ト申シマスカ——輿論ト申シマスカ、國民全體ガ之ニ非常ナ關心ヲ持ッテ看守ルト云フヤウナ制度ヲ、更ニ附加ヘル必要ガアリハシナイカ、是ヘドウ云フ風ニ致シマスカ、マダ具體的ノ腹案モ出來テ居リマセヌケレドモ、官民一致シタル物價ノ看守ニ付テノ委員會組織ノヤウナモノヲ、名前ハ何ト云フ名前トニ付ケルカ分リマセヌガ、中央或ハ各地方々々ニ置クノデアリマス、サウシテソコニソレハ物價ナラ物價問題デ、色々地方ニハ消費者ノ人達モ十分入ルノデアリマス、スルカト云フヤウナ問題ナドモゴザイマスノデ、實ハマダ踏切ラヌデ居ル譯デゴザイマス、ソコデ今日ハ兎モ角不足ナル原料輸入ヲ抑壓スル、或ハ非常ニ軍事ノ需要ガ多イ爲ニ不足シテ居ルト云フヤウナ、原料其ノ物ニ付キマシテハ、出來ルダケ代用品ノ使用ヲ獎勵スルトカ、或ハ消費ヲ抑制ス

國ノ政策ニ背ク者ハ、暴利取締令ノ省令ニ依ル何十圓、何百圓ノ罰金ト云フモノハ、斯ウ云フコトニ私ハ物價騰貴ノ根本原因ガアルト思フノデアリマスカラシテ、ドウシテモ根本問題トシテハ、物資ヲ出來得ル限制マデ行キタイ、サウシテ一方暴利取締令ト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ルノデゴザイマス、綠返シテ申上ゲマスルガ、中々御話ノ通リ非常ニ難シイ問題デ、容易デナイト云ニ丁度前田サンガ今御話ニナリマシタ通り、唯ソレダケデハ中々是ハ容易デナイト思ヒマスノデ、ソコデドウシテモ官民ガ一致シテ、物價問題ニ關心シテ、何ト申シマスカ——輿論ト申シマスカ、國民全體ガ之ニ非常ナ關心ヲ持ッテ看守ルト云フヤウナ制度ヲ、更ニ附加ヘル必要ガアリハシナイカ、是ヘドウ云フ風ニ致シマスカ、マダ具體的ノ腹案モ出來テ居リマセヌケレドモ、官民一致シタル物價ノ看守ニ付テノ委員會組織ノヤウナモノヲ、名前ハ何ト云フ名前トニ付ケルカ分リマセヌガ、中央或ハ各地方々々ニ置クノデアリマス、サウシテソコニソレハ物價ナラ物價問題デ、色々地方ニハ消費者ノ人達モ十分入ルノデアリマス、スルカト云フヤウナ問題ナドモゴザイマスノデ、實ハマダ踏切ラヌデ居ル譯デゴザイマス、ソコデ今日ハ兎モ角不足ナル原料輸入ヲ抑壓スル、或ハ非常ニ軍事ノ需要ガ多イ爲ニ不足シテ居ルト云フヤウナ、原料其ノ物ニ付キマシテハ、出來ルダケ代用品ノ使用ヲ獎勵スルトカ、或ハ消費ヲ抑制ス

常ニ膨脹スル、公債ハ増發スル、通貨ハ殖エル、而モソレニ伴ツテ物資ガ十分デナイ、斯ウ云フコトニ私ハ物價騰貴ノ根本原因ガアルト思フノデアリマスカラシテ、ドウシテモ根本問題トシテハ、物資ヲ出來得ル限制マデ行キタイ、サウシテ一方暴利取締令ト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ルノデゴザイマス、綠返シテ申上ゲマスルガ、中々御話ノ通リ非常ニ難シイ問題デ、容易デナイト云ニ丁度前田サンガ今御話ニナリマシタ通り、唯ソレダケデハ中々是ハ容易デナイト思ヒマスノデ、ソコデドウシテモ官民ガ一致シテ、物價問題ニ關心シテ、何ト申シマスカ——輿論ト申シマスカ、國民全體ガ之ニ非常ナ關心ヲ持ッテ看守ルト云フヤウナ制度ヲ、更ニ附加ヘル必要ガアリハシナイカ、是ヘドウ云フ風ニ致シマスカ、マダ具體的ノ腹案モ出來テ居リマセヌケレドモ、官民一致シタル物價ノ看守ニ付テノ委員會組織ノヤウナモノヲ、名前ハ何ト云フ名前トニ付ケルカ分リマセヌガ、中央或ハ各地方々々ニ置クノデアリマス、サウシテソコニソレハ物價ナラ物價問題デ、色々地方ニハ消費者ノ人達モ十分入ルノデアリマス、スルカト云フヤウナ問題ナドモゴザイマスノデ、實ハマダ踏切ラヌデ居ル譯デゴザイマス、ソコデ今日ハ兎モ角不足ナル原料輸入ヲ抑壓スル、或ハ非常ニ軍事ノ需要ガ多イ爲ニ不足シテ居ルト云フヤウナ、原料其ノ物ニ付キマシテハ、出來ルダケ代用品ノ使用ヲ獎勵スルトカ、或ハ消費ヲ抑制ス

國ノ政策ニ背ク者ハ、暴利取締令ノ省令ニ依ル何十圓、何百圓ノ罰金ト云フモノハ、斯ウ云フコトニ私ハ物價騰貴ノ根本原因ガアルト思フノデアリマスカラシテ、ドウシテモ根本問題トシテハ、物資ヲ出來得ル限制マデ行キタイ、サウシテ一方暴利取締令ト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ルノデゴザイマス、綠返シテ申上ゲマスルガ、中々御話ノ通リ非常ニ難シイ問題デ、容易デナイト云ニ丁度前田サンガ今御話ニナリマシタ通り、唯ソレダケデハ中々是ハ容易デナイト思ヒマスノデ、ソコデドウシテモ官民ガ一致シテ、物價問題ニ關心シテ、何ト申シマスカ——輿論ト申シマスカ、國民全體ガ之ニ非常ナ關心ヲ持ッテ看守ルト云フヤウナ制度ヲ、更ニ附加ヘル必要ガアリハシナイカ、是ヘドウ云フ風ニ致シマスカ、マダ具體的ノ腹案モ出來テ居リマセヌケレドモ、官民一致シタル物價ノ看守ニ付テノ委員會組織ノヤウナモノヲ、名前ハ何ト云フ名前トニ付ケルカ分リマセヌガ、中央或ハ各地方々々ニ置クノデアリマス、サウシテソコニソレハ物價ナラ物價問題デ、色々地方ニハ消費者ノ人達モ十分入ルノデアリマス、スルカト云フヤウナ問題ナドモゴザイマスノデ、實ハマダ踏切ラヌデ居ル譯デゴザイマス、ソコデ今日ハ兎モ角不足ナル原料輸入ヲ抑壓スル、或ハ非常ニ軍事ノ需要ガ多イ爲ニ不足シテ居ルト云フヤウナ、原料其ノ物ニ付キマシテハ、出來ルダケ代用品ノ使用ヲ獎勵スルトカ、或ハ消費ヲ抑制ス

ラ、ソレハ國家的ニ考ヘラレテ——是ハ大藏當局ニ御願スルガ、單ニ事務官ノヤラレテ居ル目先々ダノ事務的ノコトニバカリ沒頭セズシテ、國家ノ大局カラ見テ輸入ノ制限ヲ緩和スルコトガ必要デアルト考ヘレバ、其年ハソレニ依ッテ國際收支ガ多少悪クナッテモ、來年、再來年ハ非常ニ好イ結果ガ來ルノダト云フ見透シガ付クナラバ、ソコハ相當緩メル、斯ウ云フ風ニ輸入ノ制限ハ、計畫性ヲ更ニ強化サルト同時ニ、其計畫性ニ伴ウテ二年三年ノ將來モ眺メテ、ヤツテ貴ヒタ、今日マデノヤリ方ヲ見ルト、ドウモ目先々ノコトバカリデヤッテ居ラレルノデハナイカ、實際ハサウデハアリマスマイガ、私共ハサウ云フヤウナ感ジモ致スノデアリマス、輸入ノ制限モ無論結構ダガ、之ヲ更ニ計畫性ヲ強化シテ、サウシテ二年三年後ニ國際收支ガ、ソレニ依ッテ改善サレルト云フコトデアルナラバ、多少ノ手加減ヲスル、斯ウ云フ風ニシテ生産力ノ擴充ト云フ問題ニ付テモ、多少考ヘ直シラシテ貰ハナケレバナラヌ點ガアルノデハナイカ、私ハ斯ウ考ヘマスカラ、其點一ツ御考慮ヲ願ツテ置キマス、ソレカラ是ハ御承知ノ如ク、買占トカ賣惜ノ爲ニ、相當在庫品ガ增加シタ場合モアルト思ヒマス、現在ハ在

庫品ハ多少減ツテ居ルヤウデアリマスケレドモ、尙ホ相當買占或ヘ賣惜ノ爲ニ、在庫品ガ溜ツテ居ルノデハナイカト思ヒマス、是ハ何デ商工省ハ、昨年ノ暮カラ重要商品ニ對スル在貨調ヲヤッテ居ルヤウデアリマスガ、若シ其結果ガ既ニ御分リデアルヤウスガ、此場合、買占、賣惜ノ爲ニドウ云フ風ニナッテ居ルカラ同フコトガ出來レバ、結構ダト思ヒマス、併シは軍需資材ナドニ關係シテ居ル商品モアッテ、或ハ秘密ヲ要スルノデハナイカト思ヒマスガ、場合ニ依ッテハ速記ヲ御止メニナリ、或ハ秘密會議デモ開イテ戴イテ、現在在庫品ガドウ云フ狀態ニ置カレテ居ルカラ、御説明願フコトガ出来レバ結構ダト思ヒマス

○吉野國務大臣 御話ノ通り「ストック」ノ調査ト云フモノヲ、幾ツカノ物ニ就テ行ッテ居ル譯デアリマスガ、大體其物ノ中ニハ、ガ買タ方ハ前ノ値段ト云フヤウニ、價格ノ點ニ付テ折合ガ付カヌト云フヤウナモノモ、一二アルヤウデアリマス、併シサウ云フ問題ハ、兎ニ角今ハ物ガ大事デアッテ、値段ノ高イ低イト云フヤウナコトヘ、或ル意味力ラ申シマスレバ、第二次的ノ問題デゴザイマスカラ、サウ云フ物ハ又全體トシテ、適當ニ調節シテ行ク方策ガ付クダラウ、斯ウ考テ、輸入ノ方ヲ抑ヘタモノデゴザイマスカラ、餘リニ凸凹ガナイヤウナ風ニ、物ノ配給ヲソレデ全體的ノ結論トシテ、サウフンダン

○前田委員 大體誤解致シタノデアリマスガ、過日經濟團體聯盟デアリマスカ、何カ物價對策委員會ヲ設ケテ、物價ノ綜合的統制ヲ行フ爲ニ諮詢機關ヲ拵ヘル、斯ウ云ツタモノニ付キマシテハ臨時措置法ノ第二條ヲ正式ニハ適用致シマセヌケレドモ、言フコトナラバ、此場合、買占、賣惜ノ爲ニドウ云フ風ニナッテ居ルヤレバ、之ニ依ッテヤルゾト云フモ今日既ニヤッテ居ル譯デアリマス、唯細カイ問題ニナリマスト、或物ニ付キマシテハ、サウ云フヤウナコトガ出來ナイヤウナ物ガ、値段ノ點デ多少アリマス、詰リ當時買タ時ハ非常ニ高カッタガ、今ハ下ツテ居ル、併シ買フ方ハ物ヲ分ケテモ宜イト言フガ、値段ノ點ニナリマシテ、今ノ値段デ欲シイ、所ガ買タ方ハ前ノ値段ト云フヤウニ、價格ノ點ニ付テ折合ガ付カヌト云フヤウナモノモ、ドウ云フ御觀察ヲ持ツテ居ラレマスカ、ヤハリ場合ニ依レバ是モ實行シテ宜イノダ、斯ウ云フヤウナ御考デアリマスカ、拜承致シテ置キマス

○吉野國務大臣 私モマダ正式ニハ經濟團體聯盟ノ意見ト云フモノヲ、聞イテ居リマセヌ、ヤハリ新聞デ拜見シテ居ル程度デゴザイマスガ、一ツノ考ヘ方ダト思ツテ居リマス、唯只今マデノ所物價高——物價高ト申シマシテモ特別ニ輸入ヲ抑制シタ物デアルトカ、或ハ軍需ノ資材トカ云フヤウナ、非常ニ暴騰シタ物々ガ幾ツカノモノニ限ラレ

テ居ルノデアリマスカラ、サウ云フ方面ニ先ヅ私ハ只今申上ゲマシタヤウナ、局所的ノ配給ノ問題ニ力ヲ入レタイト考ヘテ居リマス、ソレト併セテ物ノ値段ト云フモノヲ、監視ト言葉ガ悪イカモ知レマセヌガ、之ヲ見守ル所ノ委員會ミタヤウナモノハ、必要デハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、併シ更ニ進ミマシテ、物價問題ト云フモノガ非常ニ深刻ニナリマシテ、殊ニ米始メ生活必需品ト云フモノガ、丁度往年ノ歐羅巴戰爭ノ當時ノヤウニ、暴騰スルト云フコトニナリマスナラバ、此經濟團體聯盟ノ考ヘマスヤウナ意味ノ仕組モ、私ハ確ニ一つノ方法デハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス○前田委員 色々物價ノ對策ニ付キマシテモ、尙ホ伺ヒタイコトガアリマスルガ、時間モ刻々進ンデ居リマスノデ、幸ヒ只今大臣ガ見エテ居リマスカラ、大藏大臣ニ關スルコトヲ、モウ少シ御尋申上ゲタイト思ヒマス、今日ハ私トシテハ商工大臣ハソレダ結構デアリマス、本議會デ度々論議サレタコトデアリマスガ、產業資本ニ對スル課稅ト、金融資本ニ對スル課稅トガ均衡ヲ失シテ居ル、產業資本ニ對シテドウモ餘リニ重イ、金融資本ニ對シテ輕イ、斯ウ云フ御議論ガアツタノデアリマスガ、ソレニ對シ

テ私ハ全然同感デアルトハ、今日申上ゲルコトヲ差控ヘタイト思ヒマス、產業資本ト金融資本ハ、利潤モ違ヘバ、又危險率モ違ッテ來ルノデアリマスカラ、強チ此御議論ヲ全部吾々ハ同感デアルト申スコトハ、相當考慮シナケレバナラスト考ヘマス、併ナガラ斯ウ云ツタ議論・批判ヲ是正致シマスルノニハ、先ヅ此第二種所得稅ト第三種所得稅ノ綜合課稅ガ行ヒ得ルナラバ、今言ツタヤウナ批判ヲ緩和スルコトガ出來ルノデハナイカト、又稅ノ立前カラ考ヘマシテモ、此第二種所得稅ノ第三種所得稅ヘ、綜合課稅デアルコトガ妥當デアリ、合理的デアル、斯様ナ考ヘ方ヲ致シテ居リマシタノデ、私ハ今回ノ一部稅法ノ改正ニ際シマシテモ、多分斯ウ云フ點ヲ致シテ居リマシタノデハナイカ、斯様ニ期待マデ改正サレルノデハナイカ、斯様ニ期待ヲ致シテ居タノデアリマスルガ、ソコ迄至ッテ居ラナカッタノラ甚ダ遺憾ニ考ヘテ居リマス、此綜合課稅ニ關シマスル大藏大臣ノ所見、並ニ今ハヤラヌガ將來ヤッテモ宜イ

○前田委員 私ハ不幸ニシテ其點ニ付テノデアリマス、斯様ニ考ヘテ居リマス、大藏大臣ト多少ノ所見ヲ異ニシテ居ルノデアリマス、之ヲ綜合課稅ト致シマシテハ、大藏大臣ト多少ノ所見ヲ異ニシテ居ルノデアリマス、之ヲ綜合課稅ト致シマシテモ、國債ノ消化トカ或ハ社債ノ募集、サウスル個人ノ所得ヲ、所謂第三種ト綜合シテ云フ御考ヲ持ッテ居ラレマスルカ、其御所信ヲ伺ッテ見タイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 今第二種ト申シテ居リマス、此綜合課稅ニ關シマスル大藏大臣ノ所見、並ニ今ハヤラヌガ將來ヤッテモ宜イキモノデアッテ、コ、數年ドウシテモ困難ノ落付キマシテカラズ、其上デ行ハレルベト云フコトニ、納付金ハ定メラレテ居ルノト云フコトニ、然ルニ競馬ノ實情ハ、是ハ能ク大臣御承知ノ通り、競馬其モノガ馬事ノ普及改良、サウ云ツタ方面ニ必要デアルト云デアリマス、然ルニ競馬ノ實情ハ、是ハ能ク此競馬ノ投票券ヲ發賣スルガ爲ニ、地方フコトハ勿論デアリマスケレドモ、併ナガラ此競馬ノ投票券ヲ發賣スルガ爲ニ、地方ニ於キマシテハ非常ニ射倅心ヲ刺戟サレテ、ソレガ爲ニ產ラ失フ者ガ頻々トシテ起テ居ル、地方ノ堅實ナル所ノ思想モ、ソレガ爲ニ破壞サレル虞ガアルノデアリマス、而モソレガ爲ニ此競馬ト云フモノハ莫大ナ

ル利益ヲ擧ゲテ居ル、私ハ農林大臣ノ御出席ヲ實ハ要求シタイト思ツタノデアリマスガ、ソレガ爲ニ競馬其モノハ非常ニ莫大ナル賣得金ト言ヒマスカ、利益ヲ擧ゲテ居ル、而モ其爲ニ地方ノ資產家ガ思惑ヲシテドンヽ倒レル、健全ナル所ノ農村ノ氣風ト云フモノガ破壊サレルト云フ、洵ニ憂フベキ現象ヲ呈シテ居ル、而モ賣得金ニ對シテ僅ニ百分ノ八以内シカ、納付金ヲ出シテ居ラナイ、是ハ何ト致シテモ私ハ此納付金ノ額ヲモット增加ヲ致シテ、サウシテモウ少シ増稅額ヲ殖シテ、之ヲ地方一般ニ交付スルナリ、或ハ大衆ノ課稅ヲ輕クスルナリ、モウ少シ有效適切ニ活用シテ見タイ、斯様ニ考ヘテ今回ノ增徵案ニ付キマシテモ、無論是ハ手ヲ著ケラレルコトダ、斯様ニ考ヘテ居ツタノデアリマスガ、蓋ヲ開ケテ見マスト、手ヲ著ケテ居ラナイ、甚ダ遺憾ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、是ハ農林省ノ御考モアルデアリマセウ、アルデハアリマセウガ、私共ハ競馬ノ實際カラ見マスト、モウ少シ之ヲ殖シテ或ハ馬車ノ改良ニ資セラレルト云フコトモ結構デアリマスガ、更ニ進ンデ、社會政策ノ費用ニ之ヲ投ズル、國家有用ノ費用ニ之ヲ使フト云フコトガ、私ハ戰時體制下ノ現在ノ非常時ニ於テハ、最

モ緊要ナルモノノ一ツデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、此點ニ關シマシテ、所見ヲ伺ヒタイト存ジマス○賀屋國務大臣 競馬會ノ納付金ニ付キマアルノデアリマスガ、是ハ御承知ノ通り當初百分ノ一ト云フモノヲ、只今ヘ最高百分ノ八以内ト數次ノ引上ヲ致シテ居ルノデアリマス、且ツ現在ニ於キマシテハ其の使用ノ目的モ定ツテ居リマス、併ナガラ是ハ非常ノ際デアリマス、又其使用ノ目的ヲ別ニ考ヘルコトモ、是モ出來ル譯デハアリマスガ、只今ノ競馬會ノ數次ノ引上ヲ致シマシテ、固定資產ノ銷却率ヲ引上ゲルヤウナ御考ガアルカナイカ、之ヲ伺ッテ見タイト思ヒマス

○前田委員 此點ハ戰後ノ反動期ニ處スル工業ハ置カレテ居ルノデハナイカト思ヒマケレバナラヌ、組直シヲシナケレバナラヌ、サウ云フ關係ニ、軍需ニ關係シテ居ルモアルノデアリマスガ、是ハ御承知ノ通り當初百分ノ一ト云フモノヲ、只今ヘ最高百分ノ八以内ト數次ノ引上ヲ致シテ居ルノデアリマス、且ツ現在ニ於キマシテハ其の使用ノ目的モ定ツテ居リマス、併ナガラ是ハ非常ノ際デアリマス、又其使用ノ目的ヲ別ニ考ヘルコトモ、是モ出來ル譯デハアリマスガ、只今ノ競馬會ノ數次ノ引上ヲ致シマシテ、固定資產ノ銷却率ヲ引上ゲルヤウナ御考ガアルカナイカ、之ヲ伺ッテ見タイト思ヒマス、此見地ニ立チマシテ、法人ノ積立金、社内保留金等ヲ、モット寛大ニ認メラレテ、事業會社ノ方ニハ加算稅ヲ課セナイト云フコトガ、寧ロ私ハ妥當デハナイカト考ヘテ居ルノデアリマスガ、其點ノ御所見ヘレカラ事業會社ト同族保全會社ヲ區別ラシテ、事業會社ノ方ニハ加算稅ヲ課セナイト云フコトガ、寧ロ私ハ妥當デハナイカト考ヘテ居ルノデアリマスガ、其點ノ御所見ヘレカラ事業會社ト同族保全會社ヲ區別ラシテ、事業會社ノ方ニハ加算稅ヲ課セナイト云フコトガ、寧ロ私ハ妥當デハナイカト考ヘテ居ルノデアリマスガ、其點ノ御所見ヘ如何デアリマスカ

○賀屋國務大臣 只今ノ軍需工業ニ對シマニ付キマシテ、必要ナラバ是ハ主管省ノ方ニ付キマシテ、其事業ノ性質、收益ノ狀況ノ點ガアルノデアリマス、利益ニ認メマシテトシテ之ヲ適用シテ居リマス、事業會社ニ付キマシテハ、保全會社ニ關シテハ、原則トシテ之ヲ適用シテ居リマス、事業會社ニ對シマシテハ、其事業ノ性質、收益ノ狀況、株主ノ數、或ハ其株式方法定相場ガアルカドウカ、各種ノ事情ヲ綜合勘按致シマシテ、保全會社トハ別個ノ取扱ノ下ニ全國ヲ統一一致シマシテ、不權衡ノナイヤウニヤツテ居リマス、實際適用ノ數カラ致シマシテモ、保全會社ニ對スル分ト比ベマシテ、遙ニ其數ガ少クナツテ居ルノデアリマス○前田委員 更ニ御尋申上ゲマスガ、相續率ノ問題デアリマスガ、申ス迄モナク今戰時體制下デアリマスカラ、ドシヽ事業ノ擴張ハドウシテモヤラナケレバナラヌ、併ナガラ是ハ遠キ將來カモ知レマセヌガ、何時カハ此產業ト云フモノハ、平和ニ回復シテ、隨テ此場合ニハ出來ル限リ固定資產ノ銷却率ヲ殖シテ、内容ノ健全ヲ期シテ置クト云フコトガ、戰後ノ反動下ニ處スル上ニ於テ最モ必要デハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス、此見地ニ立チマシテ、法人ノ積立金、社内保留金等ヲ、モット寛大ニ認メラレテ、事業會社ノ方ニハ加算稅ヲ課セナイト云フコトガ、寧ロ私ハ妥當デハナイカト考ヘテ居ルノデアリマスガ、其點ノ御所見ヘ如何デアリマスカ

○大矢政府委員 同族會社ニ付スル加算稅ニ付キマシテハ、保全會社ニ關シテハ、原則トシテ之ヲ適用シテ居リマス、事業會社ニ付キマシテハ、其事業ノ性質、收益ノ狀況、株主ノ數、或ハ其株式方法定相場ガアルカドウカ、各種ノ事情ヲ綜合勘按致シマシテ、保全會社トハ別個ノ取扱ノ下ニ全國ヲ統一一致シマシテ、不權衡ノナイヤウニヤツテ居リマス、實際適用ノ數カラ致シマシテモ、保全會社ニ對スル分ト比ベマシテ、遙ニ其數ガ少クナツテ居ルノデアリマス○前田委員 更ニ御尋申上ゲマスガ、相續率デアリマスルガ、是ハ人ニモ依ルデアリマセウガ、不動産ヲ主ナル財產ト致シテ居リマスル者ヘ、金錢ニ依ツテ納付スルコトガ困

難ナル場合ガアル、ソレガ爲ニ二束三文ニ不動産ヲ賣却シテ税金ヲ納メル、斯ウ云ツタ例モ澤山アルノデアリマスカラ、事情如何ニ依ッテハ物納ヲ許可スル、斯ウ云フ方針ヲ採ラレルト云フコトガ、妥當デハナイカト考ヘテ居リマスルガ、之ニ付テノ所見ヲ伺ツテ見タイト思ヒマス

○大矢政府委員 相續稅ニ於キマシテ、多額ノ不動産ガ相續財產ノ中ニ包含セラレテ居ルモノニ付テヘ、物納制度ヲ併用シタラドウカト云フコトハ、屢々問題ニナッタコトデアリマシテ、私共十分調査考究ヲ遂ゲタノデアリマスガ、ドウモ國庫ノ收入トシテ徵收スル場合ニ、不動産ヲ取ツテ、ソレヲ換價シテマシテ、英國ニ於キマシテ僅ニ法令ノ點ガ多々アルノデアリマシテ、各國ノ例ヲ上ニ於キマシテ其規定ガアリマスルケレドモ、是モ實際ヘ到底施行セラレナイ、殆ド十數年來其施行ノ實例ヲ見ナイト云フヤウナ狀況デアリマシテ、唯昨年ノ臨時租稅增徵法ニ於テ、相當相續稅ノ稅率ガ引上ガラレマシタノデ、此際ニ於キマシテ從來相續稅ノ年賦延納ハ、最長七箇年ニナッテ居リマシタノヲ、特ニ不動産ガ多額ノモノニ付キ

マシテハ、十箇年マデ猶豫ヲ認メルコトニ致シマシテ、多少其間ノ緩和ハ圖ツタノデアリマスガ、尙ホ將來十分考究シテ見タイ

○前田委員 取引所ニ關聯シテ少シク御尋致シテ置キタイト思ヒマス、御承知ノ如ク

「ラヂオ」ガ非常ニ發達致シマシテカラ以來ト云フモノハ——ソレヨリ前ニモアッタノデアリマスルガ、近來特ニ市場外ニ取引類似ノ行爲ガ盛ニ行ハレテ居ルト思ヒマス、而モ之ヲ監督スル者ハ警察官吏デアル、警察官吏ト云フモノハ御承知ノ如ク帳面ヲ検査シテモ一向分ラナイ、二重帳面ヲ附ケテ

胡麻化シテ居ツテモ分ラナイ、斯ウ云フ風ニ監督權ガ稅務官吏ニナイガ爲ニ、十分ナル

シテモ、實行上色々考慮シナケレバナラヌ點ガ多々アルノデアリマシテ、各國ノ例ヲ見マシテモ、英國ニ於キマシテ僅ニ法令ノ

上ニ於キマシテ其規定ガアリマスルケレドモ、是モ實際ヘ到底施行セラレナイ、殆ド

ナイト思フ、隨テ此類似行爲ヲ十分ニ取締ヲ致シテ居ル額モ、私ハ可ナリ多イノデヤ

ヲ致シテ居ル額モ、私ハ可ナリ多イノデヤ

ナイト思フ、隨テ此類似行爲ヲ十分ニ取締ヲ致シテ居ル額モ、私ハ可ナリ多イノデヤ

ナイト思フ、隨テ此類似行爲ヲ十分ニ取締ヲ致シテ居ル額モ、私ハ可ナリ多イノデヤ

後若シ利益ガ非常ニ多クナツテ株式取引ガ益繁盛ヲ加ヘマス場合ニ於テハ、サウ云フ

デ粕取り燒酎ヲ混和シテ、隨テソレニ臭ヒテ存ジテ居リマス

○大矢政府委員 今ノ御話ニ付キマシテハ

同感ノ點ガ多々アルノデゴザイマスルガ、唯之ヲ獨リ稅務ノ見地ノミニ立ツテ取締ツテ行クノガ、果シテ適當デアルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、尙ホ十分考究シテ見タイト存ジテ居リマス

○前田委員 更ニ取締ノコトデアリマスガ、酒デアリマス、市場ニ於テ「アルコール」ガ、酒デアリマス、市場ニ於テ「アルコール」

ガ、酒デアリマス、市場ニ於テ「アルコール」トカ燒酎ヲ酒ニ混入スルコトヲ禁止シテ居

ル、然ルニ實際ヲ見マスト、其取締ガ十分厲行サレテ居ラヌ、相當之ヲ混入シテ販賣

ヲ致シテ居ル、大藏當局モ十分ソレヲ取締

ナイト思フ、隨テ此類似行爲ヲ十分ニ取締ヲ致シテ居ル額モ、私ハ可ナリ多イノデヤ

ナイト思フ、隨テ此類似行爲ヲ十分ニ取締ヲ致シテ居ル額モ、私ハ可ナリ多イノデヤ

ナイト思フ、隨テ此類似行爲ヲ十分ニ取締ヲ致シテ居ル額モ、私ハ可ナリ多イノデヤ

賣シテ居ル者モ相當アルノデ、ソレヲ防止スル爲ニ無臭燒酎ニ對シテハ、或ル程度マ

デ粕取り燒酎ヲ混和シテ、隨テソレニ臭ヒテ附ケサシテ、他ノ物トノ混和ヲ防グト云

フコトモヤツテ居ルノデアリマス、尙ホ此度

酒類販賣業ヲ免許制度ニスルト云フ法律案ヲ出シテ、此取締ヲ更ニ一段強化シタイト云フ意思モ亦、此中ニ含マレテ居ルノデゴザイマス

○前田委員 序ニ酒ノコトヲ御尋致シマスガ、今回ノ增徵案ニハ、酒ニ對シテハ庫出稅ヲ採用サレテ居ルノデアリマス、其酒造

稅ヲ庫出稅ニ變更スルト云フコトハ、業者多年ノ熱望デアリ、私ハ無論性質カラ考ヘテ、是ガ妥當ナリト考ヘテ居ルノデアリマスガ、唯問題ハ之ヲ庫出稅ニ變更スル場合ニハ、一時相當財政上ノソコニ收入ノ缺陷

ガ生ズル、サウ云フ一時的ノ財政上ノ必要カラシテ、今日マデ延ビ／＼ニナッテ居ルノデハナイカト思ヒマスルガ、此增徵案デ既ニ一部庫出稅ヲ採用サレマシタ以上ハ、本

稅ニ對シテモ出來得ル限り、ヤハリ庫出稅ヲ採用シテ戴クト云フコトガ必要デナイカ

ト思ヒマスカラ、之ニ付テ御所見ヲ伺ツテ見タイト思ヒマス

○大矢政府委員 今ノ點ニ付キマシテハ、

○大矢政府委員 此酒造稅ニ付キマシテハ、

消費税ノ本質ト致シマシテ、成ベク消費ニ  
接近シテ課税スルト云フノガ理想ナノデゴ  
ザイマシテ、隨テ酒造税ニ付キマシテ、庫  
出課税ヲヤルト云フコトハ、理想トシテハ  
議論ノナイ所デゴザイマス、唯之ヲ實行ス  
ルニ當リマシテハ、各種考慮ヲ要スル點ガ  
アリマシテ、又業者ノ方面ニ於テモ色々利  
害ガ錯綜シテ居ル點ガゴザイマスカラ、是  
モ相當調節ラシタ上ニヤッタナラバ、此間ガ  
圓滑ニ行カレルノデハナイカト存ジテ居ル

次第デアリマス、今之ヲ直チニ全部庫出課  
ニスルト云フコトハ、御話ノ通り、過渡期  
ニ於テ國庫收入ニ減ガアルト云フノモ一點  
デアリマスガ、尙ホ其他ノ點モ併セテ考ヘ  
テ見ナケレバナリマセヌ、直グニ全部ニ付  
テ庫出課税ヲスルト云フ迄ノ、決心方付キ  
兼ネテ居ルノデアリマス、唯此度ノ此事變  
稅ノ一つシテ、物品稅ノ形ヲ執ヅテ、此庫  
出課稅ノ一端ヲ實行スルノデゴザイマシテ、  
是モ將來庫出課稅ニ進ミタイト考ヘテ居リ  
マス

○前田委員 私ハ大體ノ質問ヲ終ッタノデ  
アリマスガ、法律案自體ノ内容ニ對シマス  
ル質問ハ、施行勅令ノ内容ヲ拜見致シマシ  
タ上デ、後日又十分御質疑ヲ申上ダタイト  
思ヒマス、本日ノ私ノ質問ハ終リマス

○高橋委員長 本日ハ此程度デ終了シタイ  
ト思ヒマスガ、明日ハ岡田君ヨリ御質疑ヲ  
始メラレンコトヲ願ヒマス、而シテ前田君  
ヨリ御要求ノ所管大臣ノ御出席ノ場合ハ、  
時宜ニ依ッテ前田君ノ發言ヲ求メマス

○東條委員 服部君ノ要求ガアリマスカラ、  
資料ヲ一ツ御要求致シマス、地方競馬ノ入  
場券ノ賣上高、之ヲ十年、十一年、十二年  
ノ三箇年、各競馬場別ニ御提出ヲ願ヒタイ  
ト思ヒマス

○高橋委員長 ソレカラ各位カラ書面ヲ以  
テ委員長ノ手許マデ御請求ニナッタ資料ノ  
請求ハ、便宜速記録ニ掲載シテアリマスカ  
ラ、御承知置キヲ願ヒタイト思ヒマス

○東條委員 ソレカラ前ニ請求致シマシタ  
資料デ出ナイモノガアリマスカラ、成ベク  
早ク頂戴致シタイト思ヒマス

○高橋委員長 ソレデハ明日ハ午前十時カ  
ラ開會スルコトニ致シマシテ、本日ハ此程  
度デ散會致シマス

午後五時四分散會

昭和十三年二月二十三日印刷

昭和十三年二月二十四日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局